P3NK-7072-03Z0

FUJITSU Network SR-S
メッセージ集

V20

FUJITSU

はじめに

このたびは、本装置をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
認証機能などによりセキュリティを強化して、安全なネットワークを提供するために、本装置をご利用ください。

2020年1月　初　版
2021年2月　第2版
2022年11月 第3版

本ドキュメントには「外国為替及び外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれています。
従って本ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。
Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
Copyright FUJITSU LIMIED 2020-2022

本書の構成と使いかた

本書は、本装置のシステムログメッセージについて説明しています。

本書の読者と前提知識

本書は、ネットワーク管理を行っている方を対象に記述しています。

本書を利用するにあたって、ネットワークおよびインターネットに関する基本的な知識が必要です。

ネットワーク設定を初めて行う方でも「機能説明書」に分かりやすく記載していますので、安心してお読みいただけます。

本書の構成

本書では、システムログメッセージを説明しています。

システムログの形式について

show logging syslog コマンドで表示した場合、システムログは以下の形式で表示されます。

```
<date> <host> <machine> : <message>
```

<date>	**日時が表示されます。**
<host>	**sysname コマンドで設定したホスト名が表示されます。ホスト名を設定していない場合は IP アドレスが表示されます。IP アドレスを何も設定していない場合は、"127.0.0.1" が表示されます。**
<machine>	**機種名が表示されます。**
<message>	**メッセージ本文が表示されます。**

なお、syslog server コマンドで指定した SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは以下になります。

- syslog header（RFC 準拠）の設定がある場合
  SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <date>、<host> および <message> の部分となります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。
- syslog header（RFC 準拠）の設定がない場合（工場出荷時）
  SYSLOG サーバに送信するシステムログメッセージは <message> の部分のみとなります。SYSLOG サーバで、<machine> の部分は表示されません。<date> および <host> の部分の表示は、SYSLOG サーバの機能によります。

マークについて

【メッセージ】 **メッセージを記載しています。**

【プライオリティ】 **システムログのレベルを記載しています。**

【意味】 **各メッセージの意味を記載しています。**

【パラメタの意味】 **各パラメタの意味を記載しています。**

本書における商標の表記について

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本装置のマニュアルの構成

本装置の取扱説明書は、以下のとおり構成されています。使用する目的に応じて、お使いください。

マニュアル名称	内容
ご利用にあたって	本装置の設置方法やソフトウェアのインストール方法を説明しています。
機能説明書	本装置の便利な機能について説明しています。
トラブルシューティング	トラブルが起きたときの原因と対処方法を説明しています。
メッセージ集（本書）	システムログ情報などのメッセージの詳細な情報を説明しています。
仕様一覧	本装置のハード／ソフトウェア仕様とMIB/Trap一覧を説明しています。
コマンドユーザーズガイド	コマンドを使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
コマンド設定事例集	コマンドを使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
コマンドリファレンス	構成定義コマンド、運用管理コマンド、およびその他のコマンドの項目やパラメタの詳細な情報を説明しています。
Webユーザーズガイド	Web画面を使用して、時刻などの基本的な設定またはメンテナンスについて説明しています。
Web設定事例集	Web画面を使用した、基本的な接続形態または機能の活用方法を説明しています。
Webリファレンス	Web画面の項目の詳細な情報を説明しています。

目次

第１章　システムログ情報一覧

1.1　システムのメッセージ

1.1.1　システム起動

【メッセージ】

```
init: system startup now.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

システムが起動したことを示します。

1.2　構成定義矛盾のメッセージ

1.2.1　ether duplex コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> duplex half definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether duplex 定義による、半二重モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.2　ether mdi コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> mdi <mdi_mode> definition is ignored.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether mdi 定義による、各モード指定が不適切なため、設定を無視したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<mdi_mode>
auto: 自動設定モード
mdi : MDI 固定モード
mdix: MDI-X 固定モード

1.2.3　ether type linkaggregation コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. half duplex mode cannot be
specified.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether duplex 定義が、半二重モードであるため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. linkaggregation group has
not same speed for all member port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すべてのグループポートの ether mode 定義が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. linkaggregation group has
not belong same vlan for all member port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すべてのグループポートの VLAN 定義内容が一致していないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. anchor port is not defined
as a top port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アンカポートが先頭ポートに定義されていないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. member definition does not continuous port exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メンバポートの構成が連続したポート番号のメンバで定義されていないため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type linkaggregation <group_num> definition is invalid. group member port definition of 8 exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

グループメンバポート数が最大数(8)を超えて定義されているため、このポートがリンクアグリゲーションのメンバポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<group_num>

リンクアグリゲーショングループ番号

1.2.4 ether type mirror コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> type mirror definition is ignored. ether <mirror_port> mirror definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにミラーリングのターゲットポートが設定されているため、このポートがミラーリングポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<mirror_port>
ミラーリングポート番号

1.2.5 ether type backup, backup, linkaggregation コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> type backup <group_num> definition is invalid. <port_type> <num> <priority>
definition exists already.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにバックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが設定されているため、このポートがバックアップポートに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度(master-port,backup-port)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> definition is invalid. <priority> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートのマスタポートまたはバックアップポートが未定義であるため、バックアップポートの設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度(master-port,backup-port)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. the same VLAN cannot be specified with master port and backup port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マスタポートおよびバックアップポートに同一のタグ VLAN が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. untagged VLAN cannot be specified with master port or backup port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

タグなし VLAN が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. because STP definition is enable.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 機能が設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_num> mode vlan-based is invalid. because backup standby definition is offline.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの待機状態を閉塞に設定されているため、バックアップポート(vlan-based モード)の設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>

バックアップグループ番号

1.2.6 ether vlan コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. ether <ether_num> is tagged definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この ether ポートには、同一の VLAN ID がタグありとして設定されているため、タグなしに設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. untagged port vlan defined already.
<vid=<untag_vlan_id>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この ether ポートには、すでにほかの VLAN ID でタグなし VLAN(untag_vlan_id)が定義されているため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<vlan_id>

VLAN ID

<untag_vlan_id>

untag 定義された VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> vlan untag <vlan_id> definition is invalid. it failed in the protocol definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

プロトコル VLAN 条件定義に矛盾が存在したため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<vlan_id>
VLAN ID

1.2.7 vlan protocol コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol <protocol> definition is invalid. the same protocol has already been defined
by vlan <other_vlan_id>.
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol count <protocol_num> definition is invalid. the same protocol has already been
defined by vlan <other_vlan_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一のプロトコル条件定義がすでに存在するため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<protocol>
プロトコル種別(IPv4,IPv6,FNA)
<protocol_num>
プロトコル定義番号
<other_vlan_id>
すでにプロトコル定義済みの VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> protocol count <protocol_num> definition is invalid. protocol definition of <prt_max>
exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザ定義プロトコルが最大数を超えて指定されたため、(vlan_id)が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

<protocol_num>
プロトコル定義番号
<prt_max>
プロトコル定義最大数

1.2.8 vlan forward コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> forward <count> definition is invalid. vlan <vlan_id> forward <count> has same mac address definition exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一の MAC アドレスが指定済みのため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<count>
定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: vlan <vlan_id> forward <count> definition is invalid. ether <ether_num> port is not defined in vlan <vlan_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定ポートが VLAN エントリされていないため、静的アドレス登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<count>
定義番号
<ether_num>
ether ポート番号

1.2.9 lan vlan コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: lan <lan_num> vlan <vlan_id> definition is invalid. vlan <vlan_id> is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LAN に関連付けする指定 VLAN が未登録のため、関連付けが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<lan_num>
lan 番号
<vlan_id>
VLAN ID

【メッセージ】

l2nsm: lan <lan_num> vlan <vlan_id> definition is invalid. lan <other_lan_num> has same vid defined already.

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LAN に関連付けする指定 VLAN がすでにほかの LAN と関連付けされているため、関連付けが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<lan_num>
lan 番号
<vlan_id>
VLAN ID
<other_lan_num>
lan 番号

1.2.10 ether stp コマンド

【メッセージ】

l2nsm: [CONFIG] Spanning Tree and Web authentication can't use simultaneously(ether <ether_num>)

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一ポートで STP と Web 認証が同時に設定されているため、該当ポートが無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.11 ether webauth authenticated-mac, ether macauth authenticated-mac コマンド

【メッセージ】

l2nsm: ether <ether_num> <auth_func> authenticated-mac <count> definition is invalid. because there is contradiction in the <auth_func> setting.

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<auth_func>の設定に以下の矛盾が存在するため、認証不要端末の登録が設定されなかったことを示します。

・ <auth_func>が有効でない
・ ether ポートの<auth_func>が有効でない
・ ether ポートの<auth_func>の認証方式が MAC アドレスごとの認証でない

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<auth_func>

webauth: Web 認証

macauth: MAC アドレス認証

<count>

定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> <auth_func> authenticated-mac <count> definition is invalid. because ether
<ether_num> <auth_func> count <count> has same MAC address definition exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 MAC アドレスがすでに指定済みのため、認証不要端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<auth_func>

webauth: Web 認証

macauth: MAC アドレス認証

<count>

定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> <auth_func> authenticated-mac <count> definition is invalid. vlan <vlan_id> is not
defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VLAN が未登録のため、認証不要端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<auth_func>

webauth: Web 認証

macauth: MAC アドレス認証

<count>

定義番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> <auth_func> authenticated-mac <count> definition is invalid.
vlan <vlan_id> has already been defined in this port.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VLAN がすでにポートに登録されているため、認証不要端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<auth_func>

webauth: Web 認証

macauth: MAC アドレス認証

<count>

定義番号

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> <auth_func> authenticated-mac <count> definition is invalid. because the number of
maximum entries was exceeded.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大設定数を超過したため、認証不要端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>

ether ポート番号

<auth_func>

webauth: Web 認証

macauth: MAC アドレス認証

<count>
定義番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> macauth authenticated-mac <count> definition is invalid. because different vlan has
been already registered.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当ポートにはすでに認証不要端末が異なる VLAN ID で登録されているために設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<count>
定義番号

1.2.12 lacp bpdu コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set lacp bpdu forwarding mode(linkaggregation is enabled)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP 動作モードが有効なため BPDU 設定モードが設定されなかったことを示します。

1.2.13 IP アドレスの重複エラー

【メッセージ】

```
enabled: lan <no> has same network/address as lan <other_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<no>と <other_no> の インタフェースで、ネットワークアドレスが重複していることを示します。

【パラメタの意味】

<no>
lan 定義番号
<other_no>
lan 定義番号

【メッセージ】

```
enabled: <interface> has same ip6 prefix as <other_interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>と<other_interface>の IPv6 プレフィックスが重複したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<other_interface>
インタフェース名

1.2.14 スタティック経路の ECMP 不可

【メッセージ】

```
nsm: This route cannot be added because the number of ECMP routes has reached maximum. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

イコールコストとなる経路がすでに存在しているため、新たに追加しようとしたスタティック経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
破棄した経路情報
<protocol>
プロトコル種別

1.2.15 スタティック ARP 無効

【メッセージ】

```
nsm: This static ARP entry became invalid. <dst> of <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

設定されたインタフェースに IPv4 アドレスがない、または、インタフェースアドレスの範囲外となるあて先 IP アドレスが指定されているため、スタティック ARP エントリが無効な状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<dst>
あて先 IP アドレス
<interface>
インタフェース名

1.2.16　未サポート IPv6 プレフィックスの受信

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 <protocol> route <prefix>/<prefixlen> is not supported.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録できない IPv6 プレフィックスを受信し、経路登録を行わず破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>
経路情報のルーティングプロトコル種別
<prefix>
登録に失敗した IPv6 プレフィックス
<prefixlen>
登録に失敗した IPv6 プレフィックス長

1.2.17　マルチキャスト(プロトコル不一致)

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (different protocol)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ほかのインタフェースで指定されたマルチキャスト・ルーティングプロトコルと異なるプロトコルが指定されたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
動作しているプロトコル
pimdmd
PIM-DM
pimsmd
PIM-SM
mstaticd
マルチキャスト・スタティックルーティング
<interface>
インタフェース名

1.2.18　マルチキャスト(Candidate RP の IP アドレス不正)

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-RP address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスが不正のため、RP として動作しないことを示します。

1.2.19 マルチキャスト(Candidate RP の IP アドレスがない)

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-RP address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate RP に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、RP として動作しないことを示します。

1.2.20 マルチキャスト(Candidate BSR の IP アドレス不正)

【メッセージ】

```
pimsmd: Invalid Cand-BSR address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスが不正のため、BSR として動作しないことを示します。

1.2.21 マルチキャスト(Candidate BSR の IP アドレスがない)

【メッセージ】

```
pimsmd: Cand-BSR address is not local.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Candidate BSR に指定した IP アドレスを持つインタフェースが存在しないため、BSR として動作しないことを示します。

1.2.22 マルチキャスト(スタティック RP の重複設定)

【メッセージ】

```
pimsmd: multiple own address for static RP
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スタティック RP として自身の IP アドレスが重複指定されていることを示します。

1.2.23　マルチキャスト(スタティックルーティング情報の登録に失敗)

【メッセージ】

```
mstaticd: multicast ipv4 static route <count> is unavailable(include invalid interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト・スタティックルーティング定義に不正なインタフェースが含まれるため、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<count>
マルチキャスト・スタティックルーティング定義番号

1.2.24　スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバ

【メッセージ】

```
<component>: no enough <resources> table for <unit><number> free:<free>
necessary:<necessary>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

適用要求のあったフィルタ・QoS を適用するとスイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなることを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- enabled

<resources>
- acl
  acl の設定上限オーバとなることを示します
- rule
  rule の設定上限オーバとなることを示します

<unit>
設定上限オーバとなる単位
- ether
  ether ポートでの設定上限オーバであることを示します
- for <unit><number> の表示なし
  装置全体での設定上限オーバであることを示します

<number>
設定上限オーバとなる<unit>の番号、装置全体での設定上限オーバである場合表示されません

<free>
空き設定数

<necessary>
必要設定数

1.2.25　設定上限オーバによるフィルタ・QoS 適用失敗

【メッセージ】

```
<component>: table over flow. <definition>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなるため適用要求のあったフィルタ・QoS のスイッチへの適用ができないことを示します。
なお、自装置あてパケットやフラグメントパケットなど、ソフト処理となるパケットに対する IP フィルタ機能(lan ip filter、lan ip6 filter)、DSCP 書き換え機能(lan ip dscp、lan ip6 dscp)はスイッチのフィルタ・QoS 設定上限オーバとなった場合も適用されます。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- enabled

<definition>
適用要求のあったフィルタ・QoS 定義
- ether <ether> macfilter <count> acl <acl>
- ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>
- vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
- vlan <vid> ip6 filter <count> acl <acl>
- vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
- vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>
- lan <lan> ip filter <count> acl <acl>
- lan <lan> ip6 filter <count> acl <acl>
- lan <lan> ip dscp <count> acl <acl>
- lan <lan> ip6 dscp <count> acl <acl>

<ether>
適用失敗した ether ポート番号

<vid>
適用失敗した VLAN ID

<lan>
適用失敗した lan 定義

<count>
適用失敗した定義の優先順位
<count>以降のフィルタ・QoS 定義は適用されません。

<acl>
acl 定義番号

1.2.26　割り当てポート未設定

【メッセージ】

```
<component>:<definition> invalid. <name> has no port
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

・ 該当インタフェースにポートが割り当てられていないため、そのインタフェースの IP フィルタまたは DSCP 書き換え定義ができなかったことを示します。
・ 該当 VLAN にポートが割り当てられていないため、その VLAN のフィルタまたは QoS 設定ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
・ enabled

<definition>
・ 適用要求のあった IP フィルタ・DSCP 書き換え定義
  － lan <no> ip filter
  － lan <no> ip dscp
  － lan <no> ip6 filter
  － lan <no> ip6 dscp

  <no>
  適用失敗した lan 定義番号
・ 適用要求のあったフィルタ・QoS 設定
  － vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
  － vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
  － vlan <vid> ip6filter <count> acl <acl>
  － vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>

  <vid>
  適用失敗した VLAN ID

  <count>
  適用失敗した定義の優先順位
  <count>以降のフィルタ・QoS 定義は適用されません。

  <acl>
  acl 定義番号

<name>
インタフェース名

1.2.27 acl 条件が要求するスイッチ内部メモリの上限値超過

【メッセージ】

```
<component>: acl <acl> requires over-limit memory size of switch.
<definition> is rejected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセスコントロールリストが要求するスイッチ内部メモリ容量が上限値を超えたため適用要求のあったフィルタ・QoS のスイッチ へ の適用ができないことを示します。
たとえば、アクセスコントロールリストが、"acl mac"、"acl ip"、"acl tcp"のすべての条件を any 以外で指定した場合は使用するスイッチ内部メモリが上限値を超えるため、条件を 2 つのアクセスコントロールリストに分割し適用する必要があります。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
・ protocol
・ enabled

<acl>
acl 定義番号

<definition>
適用要求のあったフィルタ・QoS 定義
・ ether <ether> macfilter <count> acl <acl>
・ vlan <vid> macfilter <count> acl <acl>
・ lan <lan> ip filter <count> acl <acl>
・ ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>
・ vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
・ lan <lan> ip dscp <count> acl <acl>
・ vlan <vid> ip6filter <count> acl <acl>
・ lan <lan> ip6 filter <count> acl <acl>
・ vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>
・ lan <lan> ip6 dscp <count> acl <acl>

<ether>
適用失敗した ether ポート番号

<vid>
適用失敗した VLAN ID

<lan>
適用失敗した lan 定義

<count>
適用失敗した定義の優先順位
<count>以降のフィルタ・QoS 定義も適用を試みます。

<acl>
acl 定義番号

1.2.28 Web 認証定義異常(リンクアグリゲーション)

【メッセージ】

```
l2nsm: Web authentication cannot be used on trunking port
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションと同時に Web 認証が定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.29　Web 認証定義異常(VLAN)

【メッセージ】

```
l2nsm: Tagged VLAN and Web authentication cannot be defined at same time
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web アドレス認証ポートにタグ VLAN が同時に定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: Protocol VLAN and Web authentication cannot be defined at same time
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web アドレス認証ポートにプロトコル VLAN が同時に定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.30　不当な SNMP エージェントアドレスの設定

【メッセージ】

```
<component>: illegal SNMP agent address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置の IP アドレスとして割り当てられていない IP アドレスが SNMP エージェントアドレスとして定義されています。そのため、SNMP エージェントおよび TRAP 機能では、自装置の IP アドレスを使用します。SNMP マネージャとは正常に通信できない場合があります。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名

- enabled
- snmpd

1.2.31　VRRP(VRID 重複設定)

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initialized.
this vrid is already used
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定された VRID がすでに装置内で有効となっているため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
無効となった VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス

1.2.32　VRRP(仮想ルータの IP アドレスインタフェースサブネット外設定)

【メッセージ】

```
nsm: vrrp virtual router IP address out of interface subnet.
<interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

この VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であるため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
無効となった VRID
<address>
サブネット外である仮想ルータの IP アドレス

1.2.33　VRRP(仮想ルータの IP アドレスインタフェース同一アドレス設定)

【メッセージ】

```
nsm: vrrp same invalid virtual router IP address as real IP
address was set as backup. <interface> vrid<vrid> <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップ設定である VRRP グループの仮想ルータの IP アドレスが、インタフェースの実 IP アドレスと同じであるため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
無効となった VRID
<address>
実インタフェースと同じである仮想ルータの IP アドレス

1.2.34 VRRP(VRRP グループ数の上限オーバ)

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <interface> vrid<vrid> [<address>] is not initialized.
this vrid is over max group.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置で動作可能なグループ数の上限を超えたため、この VRRP グループが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
無効となった VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス

1.2.35 STP(最大中継時間と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Forward delay - Max age relationship 2*(<delay_time> - 1)
>= <max_age>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義された最大中継遅延時間と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
(2*(<delay_time> - 1) >= <max_age>でないことを示します)

【パラメタの意味】

<delay_time>
定義した最大中継遅延時間
<max_age>
定義した最大有効時間

1.2.36　STP(Helloメッセージ送信間隔と最大有効時間の依存関係異常)

【メッセージ】

```
mstpd: Violates Hello time - Max age relationship 2*(<hello> + 1) <= <max_age>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義されたHelloメッセージ送信間隔と最大有効時間の設定秒数が矛盾した設定であることを示します。
(2*(<hello> + 1) <= <max_age>でないことを示します)

【パラメタの意味】

<hello>
定義したHelloメッセージ送信間隔時間
<max_age>
定義した最大有効時間

1.2.37　STP(ポートバージョン定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Invalid STP version(<version>) for port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP動作モードとSTPポートバージョンの設定が矛盾しているため設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<version>
設定しようとしたSTPバージョン
<port>
設定しようとしたポート名(ethxx)

1.2.38　STP(インスタンス定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set instance <instance_id> for bridge <bridge>
(STP mode isn't mstp)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP動作モードがMSTP以外の場合に 1以上のインスタンス設定がされたため設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
インスタンス番号
<bridge>
ブリッジ名

1.2.39 STP(BPDU 転送モード定義矛盾)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG] Cannot set bpdu forwarding mode(STP mode isn't disable)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モードが有効なため BPDU 設定モードが設定されなかったことを示します。

1.2.40 stp domain コマンド

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set instance <instance_id>(<info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インスタンス番号で指定されたインスタンス情報の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号
<info>
異常時内部情報

1.2.41 IEEE802.1X 認証(AAA グループ ID 定義異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: AAA group ID is not defined
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port_no>で表示されたポートで、IEEE802.1X 認証が使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.42 IEEE802.1X 認証(VLAN 定義)

【メッセージ】

```
l2nsm: VLAN and port authentication cannot be defined at same time
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証と VLAN が同時に定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.43 IEEE802.1X 認証(リンクアグリゲーション)

【メッセージ】

```
l2nsm: port authentication cannot be used on trunking port
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションと同時に IEEE802.1X 認証が定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.44 IEEE802.1X 認証(Web 認証)

【メッセージ】

```
l2nsm: Web authentication and port authentication cannot be used at same
time in a different auth mode [ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証と同時に定義された際に、互いの認証方式が異なっているために、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.45 IEEE802.1x 認証(MAC アドレス認証)

【メッセージ】

```
l2nsm: MAC authentication and port authentication cannot
be used at same time in a different auth mode [ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証と同時に定義された際に、互いの認証方式が異なっているために、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.46 EAPOL 転送モード設定異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set eapol forwarding mode(port authentication mode isn't
disable)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証が有効に設定されているため、EAPOL 転送モード設定がされなかったことを示します。

1.2.47 MAC アドレス認証(AAA グループ ID 定義異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: AAA group ID is not defined
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port_no>で表示されたポートで、MAC アドレス認証が使用する AAA のグループ ID が未設定であるため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.48　MAC アドレス認証(VLAN)

【メッセージ】

```
l2nsm: VLAN and MAC authentication cannot be defined at same time
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証と VLAN は同時に定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.49　MAC アドレス認証(リンクアグリゲーション)

【メッセージ】

```
l2nsm: MAC authentication cannot be used on trunking port
[ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションと同時に MAC アドレス認証が定義されたため、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.50　MAC アドレス認証(Web 認証との競合)

【メッセージ】

```
l2nsm: Web authentication and MAC authentication cannot be used at same
time in a different auth mode [ether <port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証と同時に定義された際に、互いの認証方式が異なっているために、ポートが閉塞されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.2.51　認証許容最大数超過

【メッセージ】

```
l2nsm : ether <ether_num> auth max_user definition is invalid. because the number of maximum entries was exceeded.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証許容端末数が装置最大エントリ数を超過したため、このポートが無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.52　IGMP スヌープ

【メッセージ】

```
l2nsm: IGMP snoop cannot be performed with Multicast Routing
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャストルーティングと同時に定義されたため、IGMP スヌープが無効となったことを示します。

1.2.53　ACL(MAC 異常)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> mac is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、MAC に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.54　ACL(VLAN 異常)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> VLAN is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、VLAN に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.55 ACL(IP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> ip is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.56 ACL(IP6 を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> ip6 is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、IPv6 に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.57 ACL(TCP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> tcp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、TCP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.58 ACL(UDP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> udp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、UDP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.59 ACL(ICMP を無視)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> icmp is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL 定義に定義矛盾があり、ICMP に関する定義を無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
定義矛盾がある ACL 番号

1.2.60 ACL(定義存在せず)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> doesn't exist
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>の ACL が存在せず、この ACL 番号に関してはすべてのプロトコルで無視することを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
存在しない ACL 番号

1.2.61　ACL(定義無効)

【メッセージ】

```
<スレッド名>:<機能名> acl <acl_count> is invalid
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<acl_count>での必要な定義がない、または定義矛盾があるため ACL が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<acl_count>
無効として扱う ACL 番号

1.2.62　接続端末数制限(リンクアグリゲーション)

【メッセージ】

```
l2nsm : ether <ether_num> mac detection definition is ignored.
because this port type is linkaggregation.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ether ポートの種別がリンクアグリゲーションのため、接続端末数制限機能の設定を無効としたことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.63　接続端末数制限(認証機能との競合)

【メッセージ】

```
l2nsm : ether <ether_num> mac detection is ignored.
because <auth_func> definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証機能が有効なため、接続端末数制限機能の設定を無効としたことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<auth_func>
認証機能名
dot1x
IEEE802.1X 認証

webauth
Web 認証
macauth
MAC アドレス認証

1.2.64 接続端末数制限(静的 MAC 学習エントリの接続許容端末数超過)

【メッセージ】

```
protocol : Static MAC address entry has exceeded the mac deteciton
max-user. [ether <ether_num>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

静的な MAC アドレス学習エントリ数が、接続端末数制限機能の接続許容端末数を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.65 ARP 認証(AAA グループ ID 定義異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: AAA group ID for ARP authentication is not defined
[vlan <vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

1.2.66 DHCP MAC アドレスチェック(AAA グループ ID 定義異常)

【メッセージ】

```
enabled: AAA group ID is not defined [lan <no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP MAC アドレスチェック機能で使用する AAA のグループ ID が未設定であることを示します。

【パラメタの意味】

<no>
lan 定義番号

1.2.67 ether L3 監視(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch address out of interface
subnet. <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視先接続先 IP アドレスが、インタフェースのサブネット外であることを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
サブネット外である監視接続先 IP アドレス

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch address <address>. invalid
destination address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視接続先 IP アドレスに自装置 IP アドレスが設定されていることを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
自装置 IP アドレス

【メッセージ】

```
l2nsm: <port_type> <num> icmpwatch is invalid. IP address is not defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置に IP アドレスが未設定のため、ether L3 監視の設定が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)

<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> icmpwatch is invalid. ether type
definition is linkaggregation.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

タイプがリンクアグリゲーションである ether ポートに ether icmpwatch の設定を行ったため、ether icmpwatch が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.68 リンクダウンリレー機能(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> downrelay is ignored. because this port type is linkaggregation <group_num>, and
downrelay definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションにリンクダウンリレー機能が設定されているため、リンクアグリゲーションのメンバである ether ポートに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

<group_num>
リンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: ether <ether_num> downrelay is ignored. because this port type is backup <group_num>, and downrelay
definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートに対してリンクダウンリレー機能が設定されているため、バックアップポートのメンバである ether ポートに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

<group_num>
バックアップ グループ番号

【メッセージ】

```
l2nsm: linkaggregation <la_group> downrelay is ignored. because this port type is backup <backup_group>, and
downrelay definition is exists.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートに対してリンクダウンリレー機能が設定されているため、バックアップポートのメンバであるリンクアグリゲーションに対して設定されているリンクダウンリレー機能が無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<la_group>
リンクアグリゲーショングループ番号

<backup_group>
バックアップ グループ番号

1.2.69 ループ検出機能(定義矛盾)

【メッセージ】

```
l2nsm: loopdetect portblock definition is invalid in port <ether_num>.
because ether stp definition enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 定義が有効なため、ループ検出のポート遮断機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

【メッセージ】

```
l2nsm: Configuration Testing Protocol cannot detects a loop in port <ether_num>
when there are some authenticated supplicant.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証成功した端末が存在する場合、ループ検出機能が有効に動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号

1.2.70 IPv6 DHCP 関連の定義矛盾

【メッセージ】

```
dhcp6relay: <interface> is not initialized. <reason>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 DHCP リレーエージェントに必要な情報の設定不足、または設定不正のため、利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<reason>
理由
relay interface omitted.
リレー先インタフェースが指定されていない

1.2.71 DHCP スヌープ(DHCP 機能との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with other dhcp on vlan <vid>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 VLAN 上で、ほかの DHCP 機能と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
DHCP スヌープ機能が無効になった VLAN ID

1.2.72 DHCP スヌープ(リンクアグリゲーションとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with linkaggregation on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上でリンクアグリゲーション機能と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.73 DHCP スヌープ(IEEE802.1X 認証との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with the dot1x on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上で IEEE802.1X 情報と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.74 DHCP スヌープ(Web 認証との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with the webauth on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上で Web 認証情報と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.75 DHCP スヌープ(MAC アドレス認証との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with the macauth on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上で MAC アドレス認証情報と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.76 DHCP スヌープ(タグ VLAN との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with tagged vlan on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上でタグ VLAN 情報と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.77 DHCP スヌープ(プロトコル VLAN との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop cannot be performed with protocol vlan on ether <ether_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同一 ether ポート上でプロトコル VLAN 情報と同時に定義されたため、DHCP スヌープ機能が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
DHCP スヌープ機能が無効になった ether ポート番号

1.2.78 nodemanager node address コマンド

【メッセージ】

```
enabled: the address for node <number> is already used.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

若い番号の管理機器の定義で、すでに同じ IP アドレスが指定されているため、この管理機器の IP アドレス設定が無効であることを示します。

【パラメタの意味】

<number>
管理機器の定義番号

1.2.79 nodemanager wlan scan unmanaged コマンド

【メッセージ】

```
enabled: the mac address for unmanaged node <ap_num> is already used.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

以下のどちらかに一致するため、この管理外無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス設定が無効であることを示します。

・ 若い番号の管理外無線 LAN アクセスポイントの定義で、すでに同じ MAC アドレスが指定されている。
・ 管理無線 LAN アクセスポイントですでに同じ MAC アドレスが検出されている。

【パラメタの意味】

<ap_num>
管理外無線 LAN アクセスポイントの定義番号

1.2.80 MLAG(MAC テーブルフラッシュとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: mac flush definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため MAC テーブルフラッシュ設定が無効となったことを示します。

1.2.81 MLAG(STP との併用不可)

【メッセージ】

```
mstpd: STP definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため STP 設定が無効となったことを示します。

1.2.82　MLAG(バックアップポートとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: backup <group_id> definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なためバックアップポート設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
バックアップグループ番号

1.2.83　MLAG(ether L3 監視との併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: linkaggregation <group_id> icmpwatch definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため ether L3 監視設定が無効となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
リンクアグリゲーショングループ番号

1.2.84　MLAG(IGMP スヌープとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: IGMP snoop definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため IGMP スヌープ設定が無効となったことを示します。

1.2.85　MLAG(DHCP スヌープとの併用不可)

【メッセージ】

```
l2nsm: DHCP snoop definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため DHCP スヌープ設定が無効となったことを示します。

1.2.86 MLAG(BPDU 転送との併用不可)

【メッセージ】

```
mstpd: stp bpdu definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
l2nsm: lacp bpdu definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
authd: dot1x eapol definition is ignored. because MLAG definition is enabled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 機能が有効なため BPDU 転送設定が無効となったことを示します。

1.2.87 internal-path コマンド

【メッセージ】

```
l2nsm: internal-path <int_num> definition is invalid. because the same vid already defined.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID がすでに他の内部パスで使用されているため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<int_num>
内部パス番号

【メッセージ】

```
l2nsm: internal-path <int_num> definition is invalid. because ip address is used in lan <lan_num> definition.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IP アドレスが LAN 情報の IP アドレスと重複しているため、内部パスが有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<int_num>
内部パス番号
<lan_num>
LAN 定義番号

1.2.88　端末可視化機能

【メッセージ】

<component>: devscan definition is invalid. devscan vlan is not defined.

【プライオリティ】

LOG_INFO

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

【意味】

監視するVLAN IDが指定されていないため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【メッセージ】

<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. no valid internal-path with the same vid.

【プライオリティ】

LOG_INFO

jk/

【意味】

指定したVLAN IDに関連付けする内部パスが未登録のため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand
- enabled

<vlan_id>

VLAN ID

【メッセージ】

<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. no address setting on internal-path <int_num>.

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定したVLAN IDに関連付けられた内部パスにアドレス設定がないため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- devscand

・ enabled

<vlan_id>

VLAN ID

<int_num>

内部パス番号

【メッセージ】

```
<component>: devscan vlan <vlan_id> definition is invalid. mask setting is too small on internal-path
<int_num>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

指定した VLAN ID に関連付けられた内部パスのマスク設定が 16 未満のため、端末可視化機能が有効にならなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

・ devscand

・ enabled

<vlan_id>

VLAN ID

<int_num>

内部パス番号

1.3　ルーティングマネージャのメッセージ

1.3.1　ルーティングテーブルオーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: routing table overflow. <route> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
破棄した経路情報
<protocol>
プロトコル種別

1.3.2　インタフェースアドレスの登録失敗

【メッセージ】

```
nsm: cannot assign IP address <address> to <ifname>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、または、ハードウェア登録済みの経路と重複したため、インタフェースアドレスの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
インタフェースアドレス情報
<ifname>
インタフェース名

1.3.3　経路情報の登録失敗

【メッセージ】

```
nsm: cannot add <protocol> route <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、または、ハードウェア登録済みの経路と重複したため、経路登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>
経路情報のルーティングプロトコル種別
<route>
経路情報

1.3.4 経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv4 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv4 経路情報の再登録処理を中断したことを示します。

1.4　RIP のメッセージ

1.4.1　パケット長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<length>
RIP パケットのパケット長

1.4.2　バージョン異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 0 であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<version>
RIP パケットの RIP バージョン番号

1.4.3　送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したRIPパケット(RESPONSE)の送信元ポート番号がRIPポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名
<port>
RIPパケットの送信元ポート番号

1.4.4 送信元IPアドレス異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したRIPパケット(RESPONSE)の送信元アドレスが受信インタフェースと異なるネットワークであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名

1.4.5 アドレスファミリ異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address-family
(<family>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIPパケット(RESPONSE)で受信した経路情報のアドレスファミリがAF_INETでないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名
<family>
RIPパケットで受信したアドレスファミリ

1.4.6　経路情報あて先異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid address
(RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のあて先がブロードキャストアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<address>
RIP パケットで受信したあて先アドレス
<mask>
RIP パケットで受信したマスク長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.4.7　マスク長異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid mask
(RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のあて先が、マスク長の範囲を超えていることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<address>
RIP パケットで受信したあて先アドレス
<mask>
RIP パケットで受信したマスク長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.4.8　メトリック異常

【メッセージ】

```
ripd: recv from <src-addr> (<interface>): invalid metric
(RTE=<address>/<mask> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<address>
RIP パケットで受信したあて先アドレス
<mask>
RIP パケットで受信したマスク長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.4.9　RIP ルーティングテーブルオーバフロー(RIP パケット受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
破棄された経路情報のあて先
<mask>
破棄された経路情報のマスク長
<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.4.10　RIP ルーティングテーブルオーバフロー(再配布経路受信)

【メッセージ】

```
ripd: RIP routing table overflow. <address>/<mask> redistribute from
<protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
破棄された経路情報のあて先

<mask>
破棄された経路情報のマスク長

<protocol>
再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.5　OSPFv2 のメッセージ

1.5.1　エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id>
invalid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
インタフェースのアドレス
<router_id>
ルータ ID
<area_id>
受信した OSPF メッセージヘッダに設定されているエリア ID

1.5.2　認証方式不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id>
authentication type mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている認証方式が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
インタフェースのアドレス
<router_id>
ルータ ID

1.5.3　テキスト認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id>
authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているテキスト認証鍵または MD5 認証鍵 ID が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
インタフェースのアドレス
<router_id>
ルータ ID

1.5.4 MD5 認証鍵不一致

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address>: ospf_read from <router_id> md5
authentication failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されている MD5 認証鍵が相手装置と異なっていることを示します。
バーチャルリンクの認証では、インタフェース名として VLINK が表示され、アドレスは表示されません。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
インタフェースのアドレス
<router_id>
ルータ ID

1.5.5 ネットワークマスク長不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> NetworkMask mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でインタフェースに設定されたマスク長が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
ルータ ID

1.5.6 Helloパケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置でHelloパケット送信間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
ルータ ID

1.5.7 隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
ルータ ID

1.5.8 エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: From <router_id> option mismatch: my options:
<my_option>, his options <his_option>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっていることを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
ルータ ID

<my_option>
自装置に設定されているエリアタイプ
表示されるエリアタイプには以下のものがあります。
"2 transit"
transit エリア
"0 stub"
stub エリア
"8 nssa"
準 stub エリア(nssa)
"nnn unknown"
上記以外のエリアタイプ
nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。
<his_option>
router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ
表示されるエリアタイプには以下のものがあります。
"2 transit"
transit エリア
"0 stub"
stub エリア
"8 nssa"
準 stub エリア(nssa)
"nnn unknown"
上記以外のエリアタイプ
nnn には、エリアタイプを示す値が表示されます。

1.5.9 LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[LS-Upd]: From <router_id> LSDB overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LSDB で、LSA 最大数を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
LSA 送信元ルータ ID
ルータ ID が自装置ルータ ID の場合、再配布経路を示します。

1.5.10 ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[Hello]: router-id <router_id> duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
ルータ ID

1.5.11 MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospfd: RECV[DD]: From <router_id> <interface>:<address> MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID
<interface>
インタフェース名
<address>
インタフェースのアドレス

1.5.12 SPF 計算テーブル数オーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Area ID <area_id>: SPF calculation table overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<area_id>
SPF 計算テーブル数が許容範囲を超えたエリア ID

1.5.13 OSPF 作業メモリオーバ

【メッセージ】

```
ospfd: Temporary memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF ルーティングで使用する作業メモリが許容範囲を超えたために経路情報の一部を破棄したことを示します。

1.5.14　受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospfd: RECV: packet from <address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<address> で示すアドレスから、受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

パケットの送信元 IP アドレス

1.5.15　隣接関係異常

【メッセージ】

```
ospfd: interface <interface>:<address> : neighbor <router_id> down
detection. (<old_state> -> Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

OSPF 隣接ルータ停止確認間隔(dead interval)の間に Hello パケットを受信できず、隣接ルータとの OSPF 隣接関係が失われたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>

自装置のインタフェース名

バーチャルリンク接続では VLINK と表示されます。

<address>

自装置のインタフェースのアドレス

<router_id>

隣接ルータ ID

<old_state>

隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態

Full,Loading,Exchange,ExStart,2-Way のどれかの状態が表示されます。

1.6　ルーティングマネージャのメッセージ(IPv6)

1.6.1　ルーティングテーブルオーバフロー

【メッセージ】

```
nsm: IPv6 routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
破棄した経路情報

<protocol>
プロトコル種別

1.6.2　IPv6 プレフィックスの割り当て

【メッセージ】

```
nsm: <prefix>/<prefixlen> was assigned to <interface> from <protocol>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RA で獲得した IPv6 プレフィックスをインタフェースに割り当てたことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>
インタフェース名

<protocol>
プロトコル種別

1.6.3　IPv6 プレフィックスの重複

【メッセージ】

```
nsm: <prefix/prefixlen> cannot be assigned to <interface> from <protocol>, because duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RA で獲得した IPv6 プレフィックスが重複しているため、インタフェースに割り当てることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 プレフィックスとプレフィックス長
<interface>
インタフェース名
<protocol>
プロトコル種別

1.6.4 インタフェースアドレスの登録失敗

【メッセージ】

```
nsm: cannot assign IPv6 address <address> to <ifname>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、または、ハードウェア登録済みの経路と重複したため、インタフェースアドレスの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
登録に失敗した IPv6 アドレス
<ifname>
インタフェース名

1.6.5 IPv6 プレフィックスの登録失敗

【メッセージ】

```
nsm: cannot add IPv6 <protocol> route <prefix>/<prefixlen>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、または、ハードウェア登録済みの経路と重複したため、経路登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<protocol>
経路情報のルーティングプロトコル種別
<prefix>
登録に失敗した IPv6 プレフィックス
<prefixlen>
登録に失敗した IPv6 プレフィックス長

1.6.6　経路再登録の中断

【メッセージ】

```
nsm: Re-registration processing of the IPv6 route was interrupted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 経路情報の再登録処理を中断したことを示します。

1.7　RA のメッセージ(IPv6)

1.7.1　デフォルトルータリストオーバフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: default router list on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで受信可能なデフォルトルータの数を超えて RA を受信したため、デフォルトルータリストのエントリを作成しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
RA パケットを受信したインタフェース名

<src-addr>
RA パケットの送信元 IP アドレス

1.7.2　プレフィックスリストオーバフロー

【メッセージ】

```
rtsold: overflow: prefix <prefix>/<prefixlen> on <interface> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースで設定可能なグローバルアドレス数を超えて、RA のプレフィックス情報を受信したため、プレフィックスリストのエントリを作成しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
prefix 情報オプションの IPv6 プレフィックスとプレフィックス長

<interface>
RA パケットを受信したインタフェース名

<src-addr>
RA パケットの送信元 IP アドレス

1.8　RIP のメッセージ(IPv6)

1.8.1　パケット長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid packet length(<length>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットのパケット長が異常であることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<length>
RIP パケットのパケット長

1.8.2　バージョン異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid version(<version>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RIP パケットの RIP バージョンが 1 でないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<version>
RIP パケットの RIP バージョン番号

1.8.3　送信元ポート番号異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source port(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したRIPパケット(RESPONSE)の送信元ポート番号がRIPポート番号ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名
<port>
RIPパケットの送信元ポート番号

1.8.4 送信元IPアドレス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid source address
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したRIPパケット(RESPONSE)の送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名

1.8.5 ホップリミット異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid hoplimit(<hoplimit>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したRIPパケット(RESPONSE)のホップリミットが、255ではないことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIPパケットの送信元IPアドレス
<interface>
RIPパケットを受信したインタフェース名
<hoplimit>
RIPパケットのホップリミット

1.8.6　経路情報プレフィックス異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid prefix (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のプレフィックスがマルチキャストアドレス、またはリンクローカルアドレス、または、ループバックアドレスであることを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<prefix>
RIP パケットで受信したプレフィックス
<prefixlen>
RIP パケットで受信したプレフィックス長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.8.7　プレフィックス長異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid prefixlen (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のプレフィックス長が 128 よりも長いことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<prefix>
RIP パケットで受信したプレフィックス
<prefixlen>
RIP パケットで受信したプレフィックス長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.8.8　メトリック異常

【メッセージ】

```
rip6d: recv from <src-addr> (<interface>): invalid metric (RTE=<prefix>/<prefixlen> [<metric>])
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP パケット(RESPONSE)で受信した経路情報のメトリックが 0 である。または、16 よりも大きいことを示します。

【パラメタの意味】

<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス
<interface>
RIP パケットを受信したインタフェース名
<prefix>
RIP パケットで受信したプレフィックス
<prefixlen>
RIP パケットで受信したプレフィックス長
<metric>
RIP パケットで受信したメトリック

1.8.9　RIP ルーティングテーブルオーバフロー(REQUEST パケット受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> from <src-addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たに受信した経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>
破棄された経路情報のプレフィックス
<prefixlen>
破棄された経路情報のプレフィックス長
<src-addr>
RIP パケットの送信元 IP アドレス

1.8.10　RIP ルーティングテーブルオーバフロー(再配布経路受信)

【メッセージ】

```
rip6d: RIP routing table overflow. <prefix>/<prefixlen> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RIP ルーティングテーブルのエントリ数が最大値に達しているため、新たな再配布経路を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>
破棄された経路情報のプレフィックス

<prefixlen>
破棄された経路情報のプレフィックス長

<protocol>
再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.9　OSPF のメッセージ(IPv6)

1.9.1　エリア ID 不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: From <router_id> <interface>: invalid Area ID <area_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェースに設定されているエリア ID と受信したメッセージに設定されているエリア ID が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID

<interface>
パケットを受信したインタフェース名

<area_id>
受信パケットの OSPF ヘッダに設定されているエリア ID

1.9.2　Hello パケット送信間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: HelloInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、Hello パケット送信間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID

<interface>
パケットを受信したインタフェース名

1.9.3　隣接ルータ停止確認間隔の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: RouterDeadInterval mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、隣接ルータ停止確認間隔の設定値が異なっているため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID

<interface>
パケットを受信したインタフェース名

1.9.4 エリアタイプの不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: option mismatch. my options: <my_option>, his options: <his_option>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id> で示すルータと自装置で、エリアタイプの設定値が異なっているため該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID

<interface>
パケットを受信したインタフェース名

<my_option>
自装置に設定されているエリアタイプ
表示されるエリアタイプには以下のものがあります。

normal ：
normal エリア

stub ：
stub エリア

<his_option>
router_id で示されるルータに設定されているエリアタイプ
表示されるエリアタイプには以下のものがあります。

normal ：
normal エリア

stub ：
stub エリア

nssa ：
nssa エリア

unknown ：
上記以外のエリアタイプ

1.9.5　LSA 最大数オーバ

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. type <lsa_type> adv-router <router_id>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能な LSA の最大数を超えたため、受信した LSA、または自装置で生成する LSA を LSDB に登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<lsa_type>
登録できなかった LSA のタイプ(16 進数)
<router_id>
LSA 送信元ルータ ID、または自装置のルータ ID

1.9.6　ルータ ID の重複

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[Hello]: From <router_id> <interface>: router-id duplicated.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自装置と同じルータ ID を使用する装置を検出したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID
<interface>
パケットを受信したインタフェース名

1.9.7　MTU 値の不一致

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV[DD]: From <router_id> <interface>: MTU mismatch.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

隣接ルータのインタフェースに設定されている MTU 値が、自装置のインタフェースに設定されている MTU 値よりも大きいため、該当パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<router_id>
隣接ルータ ID

<interface>
パケットを受信したインタフェース名

1.9.8 受信可能サイズを超えたパケットの破棄

【メッセージ】

```
ospf6d: RECV: packet from <interface>:<address> ignored. (size too big)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信可能サイズ以上の IP パケットを受信したため、該当パケットを破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
パケットを受信したインタフェース名
<address>
パケットの送信元リンクアドレス

1.9.9 隣接ルータダウンの検出

【メッセージ】

```
ospf6d: interface <interface>: neighbor <router_id> down detection. (<old_state>->Down)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<router_id>で示す隣接ルータとの関係が、ダウンとみなされる状態に遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
自装置のインタフェース名
<router_id>
隣接ルータ ID
<old_state>
隣接関係が失われる前の隣接ルータとの状態
Full,Loading,Exchage,ExStart,2-Way のどれかの状態が表示されます。

1.9.10 LSA 最大数オーバ(再配布経路受信時)

【メッセージ】

```
ospf6d: LSDB overflow. <route> redistribute from <protocol>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

保持可能なLSAの最大数を超えたため、受信した再配布経路に関するLSAをLSDBに登録できないことを示します。

【パラメタの意味】

<router>

破棄した経路情報

<protocol>

再配布経路のルーティングプロトコル種別

1.10　マルチキャストのメッセージ

1.10.1　インタフェース数オーバ

【メッセージ】

```
<name>: <interface> is disable for multicast. (too many interface)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インタフェース数の上限を超えたため、マルチキャストインタフェースとして動作しないことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
動作しているプロトコル
pimdmd
PIM-DM
pimsmd
PIM-SM
mstaticd
マルチキャスト・スタティックルーティング
<interface>
インタフェース名

1.10.2　マルチキャスト経路情報の登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: cannot add multicast route <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、経路登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
経路情報

1.10.3　マルチキャスト経路情報の変更失敗

【メッセージ】

```
protocol: cannot change multicast route <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、経路変更に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
経路情報

1.10.4　マルチキャスト経路情報の再構築失敗

【メッセージ】

```
protocol: cannot restruct multicast route <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録可能な経路数を超えたため、経路再構築に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
経路情報

1.10.5　マルチキャスト登録失敗経路の再登録

【メッセージ】

```
protocol: re-add multicast error route again <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録失敗した経路の再登録を行ったことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
経路情報

1.10.6　マルチキャスト登録失敗経路の削除

【メッセージ】

```
protocol: delete multicast error route <route>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアに登録失敗した経路が削除されたことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
経路情報

1.11　通信関連のメッセージ

1.11.1　物理ポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号

1.11.2　物理ポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

物理ポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号

1.11.3　物理ポートの閉塞状態への移行

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_num> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

オペレータ指示によって、物理ポートを閉塞状態に移行したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
ether ポート番号

1.11.4　リンクアグリゲーションポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: linkaggregation <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
linkaggregation 定義番号

1.11.5　リンクアグリゲーションポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: linkaggregation <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクアグリゲーションポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
linkaggregation 定義番号

1.11.6　論理ポートのリンクアップ

【メッセージ】

```
protocol: lan <port_num> link up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理ポートがリンクアップしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
lan 定義番号

1.11.7　論理ポートのリンクダウン

【メッセージ】

```
protocol: lan <port_num> link down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

論理ポートがリンクダウンしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_num>
lan 定義番号

1.11.8　バックアップポートの状態遷移

【メッセージ】

```
protocol: backup <group_num> <priority> is <status> (<port_type> <num>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートが状態遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<priority>
ポートの優先度
master-port:
マスタポート
backup-port:
バックアップポート
<status>
遷移した状態
up :
稼動状態
standby:
待機状態
down :
停止状態
<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
protocol: backup <group_num> relearning notification complete, sent <pkt_num> packets. (<port_type> <num>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの状態遷移により切替通知フレームの送信処理を完了したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<pkt_num>
送信パケット数
<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

【メッセージ】

```
protocol: backup <group_num> relearning notification canceled, sent <pkt_num> packets. (<port_type> <num>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

バックアップポートの状態遷移により切替通知フレームの送信処理を途中終了したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_num>
バックアップグループ番号
<pkt_num>
送信パケット数
<port_type>
ポート種別(ether,linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号

1.11.9 ARP エントリ登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: failed in the addition of the ARP entry for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP エントリ登録に失敗したため、ソフトウェアルーティングされることを示します。

【パラメタの意味】

<address>
登録に失敗した IP アドレス

1.11.10 LACP リンクアグリゲーションポート送受信開始

【メッセージ】

```
l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port_no> collecting/distributing start
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
linkaggregation 定義番号
<port_no>
ポート番号(1～)

1.11.11 LACP リンクアグリゲーションポート送受信停止

【メッセージ】

```
l2nsm: lacp linkaggregation <group> ether <port_no> collecting/distributing stop
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LACP によるリンクアグリゲーションポートが送受信停止状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
linkaggregation 定義番号
<port_no>
ポート番号(1～)

1.11.12 自動復旧停止機能による閉塞

【メッセージ】

```
protocol: link down limit is over <count>. ether <port> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

自動復旧停止機能により、リンクダウン回数の上限値に達したために物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<count>
検出したリンクダウン回数

<port>
閉塞状態となったetherポート番号

1.11.13　リンクダウンリレー機能による閉塞

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from <port>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
リンクダウンを検出したポート
<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となったetherポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from <port>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
リンクアップを検出したポート
<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除したetherポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクダウンを検出したlinkaggregation定義番号
<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となったetherポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from linkaggregation <group>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクアップを検出した linkaggregation 定義番号
<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除した ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link down relay occurred from backup <group>. ether <port_list> is force down
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー機能により、物理ポートを閉塞状態にしたことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクダウンを検出したバックアップグループ番号
<port_list>
リンクダウンリレー機能により閉塞状態となった ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: link up relay occurred from backup <group>. ether <port_list> is force up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<group>
リンクアップを検出したバックアップグループ番号
<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態を解除した ether ポート番号リスト

【メッセージ】

```
protocol: ether <port_list> cannot be force up.Because ether <port_list> is still link up.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンクダウンリレー閉塞解除機能により、物理ポートの閉塞状態がリンクアップ状態(閉塞状態への移行中)のため解除できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_list>
リンクダウンリレー閉塞解除機能により閉塞状態が解除できなかった ether ポート番号リスト

1.11.14 IPv6 アドレス重複検出

【メッセージ】

```
protocol: duplicate IPv6 address <address> detected in <interface>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続ネットワークで IPv6 アドレスの重複を検出したため、このアドレスが利用できないことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
重複を検出した本装置の IPv6 アドレス
<interface>
IPv6 アドレス重複を検出したインタフェース

【メッセージ】

```
protocol: IPv6 link-local address <address> duplication detected, disable IPv6 interface(<interface>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続ネットワークでリンクローカルアドレスの重複を検出したため、このインタフェース上での IPv6 を無効にしたことを示します。
無効になった IPv6 インタフェースを有効にするためには、IPv6 アドレスの再設定が必要になります。

【パラメタの意味】

<address>
重複を検出した本装置の IPv6 アドレス
<interface>
IPv6 を無効にしたインタフェース

1.11.15 NDP エントリ登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: failed in the addition of the NDP entry for <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

NDP エントリ登録に失敗したため、ソフトウェアルーティングされることを示します。

【パラメタの意味】

<address>
登録に失敗した IPv6 アドレス

1.11.16 リダイレクト経路数超過

【メッセージ】

```
protocol: ICMP6 redirect rejected. Redirect route overflow.(route=<route> target=<next_hop> src=<address>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IPv6 リダイレクト経路のエントリ数が最大値に達しているため、新たなリダイレクト経路情報を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<route>
破棄したリダイレクト経路情報
<next_hop>
破棄したリダイレクト経路の中継ルータ IPv6 アドレス
<address>
破棄したリダイレクト経路の送信元 IPv6 アドレス

1.12 MLAG 関連のメッセージ

1.12.1 MLAG 状態の遷移

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is individual
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が individual(相手装置が未接続)状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is active
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が active(相手装置と接続)状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG state is conflict <cause>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG 状態が conflict(設定矛盾により相手装置と未接続)状態に遷移したことを示します。

【パラメタの意味】

<cause>
要因
(MLAG ID is not set)
MLAG ID が定義されていない
(peerlink is not set)
ピアリンクポートが定義されていない
(peerlink combination is inconsistent)
ピアリンクポートの組み合わせが正しくない
(peerlink number is different)
ピアリンクポートのポート数が異なる
(device type is different)
相手装置と機種が異なる
(domain is different)
相手装置とドメイン ID が異なる
(MLAG ID is same)
相手装置と MLAG ID が同一である

(hello interval is different)
相手装置と Hello パケットの送信間隔が異なる
(MLAG receives HELLO message from another device)
異なる相手装置からの HELLO メッセージを受信した
(MLAG Logical Device is already existed)
相手装置がすでに他装置と接続されている

1.12.2 MLAG グループ状態の遷移

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG group <group_id> is up
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG グループが up 状態となったことを示します。

【メッセージ】

```
mlagd: MLAG group <group_id> is down <cause>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MLAG グループが down 状態となったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
リンクアグリゲーショングループ番号
<cause>
要因
なし
通常の状態遷移
(group ID is not existed)
相手装置に LA グループが設定されていない
(VLAN info is inconsistent)
相手装置と VLAN 設定が異なる
(aggregation mode is different)
相手装置と LA の動作モードが異なる
(algorithm is different)
相手装置とアルゴリズム設定が異なる
(capability is inconsistent)
相手装置と通信速度設定が異なる
(member port is over 8)
メンバポートの総数が最大の 8 本を超えている

1.13　フィルタ・QoS 関連のメッセージ

1.13.1　スイッチドライバへの設定失敗

【メッセージ】

<component>: driver can't <action> of <unit><number> (<error>)

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

スイッチドライバへの設定が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- enabled

<action>
スイッチドライバへ要求した設定の内容

<unit>
スイッチドライバへの設定が失敗した単位
- ether
  ether ポートでの設定失敗であることを示します

<number>
設定失敗した<unit>の番号

<error>
失敗した要因コード

1.13.2　出力キュー未割り当て

【メッセージ】

<component>:<definition> invalid. queue <name> is not assigned

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当出力キューが COS にアサインされていないため、その MAC フィルタまたは QoS 設定ができなかったことを示します。
qos cosmap コマンドで該当出力キューを COS にアサインしてください。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- enabled

<definition>
適用要求のあったフィルタ・QoS 定義
- ether <ether> qos aclmap <count> acl <acl>

・ vlan <vid> qos aclmap <count> acl <acl>
・ vlan <vid> ip6qos aclmap <count> acl <acl>

<ether>

適用失敗した ether ポート番号

<vid>

適用失敗した VLAN ID

<count>

適用失敗した定義の優先順位

<count>以降のフィルタ・QoS 定義も適用を試みます。

<acl>

acl 定義番号

1.14　セキュリティメッセージ

1.14.1　ProxyDNS による DNS 要求破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by <no> : QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<no>
reject を行った proxydns 命令の転送先定義番号
<type>
問い合わせタイプ
<qname>
問い合わせホスト名
<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.14.2　ProxyDNS による unicode DNS 要求の破棄

【メッセージ】

```
proxydns: rejected by unknown character : QTYPE [<type>] from <ipaddr>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

ProxyDNS で、非表示文字の破棄指定により破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<type>
問い合わせタイプ
<ipaddr>
発信元ホストの IP アドレス

1.14.3　DHCP サーバのアドレス配布

【メッセージ】

```
dhcpd: Server allocation <ip_address> to <mac_address>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

DHCP サーバが DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<ip_address>
DHCP クライアントに配布した IP アドレス
<mac_address>
DHCP クライアントの MAC アドレス

1.14.4 DHCP クライアントからの要求の拒否

【メッセージ】

```
dhcpd: DHCP request from <mac_address> rejected
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

MAC アドレスが登録されていないため、DHCP クライアントからの要求を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>
DHCP クライアントの MAC アドレス

1.14.5 IPv6 DHCP サーバのアドレス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server allocation <address> to <duid>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントにアドレスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<address>
IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 アドレス
<duid>
IPv6 DHCP クライアントの DUID

1.14.6 IPv6 DHCP サーバのプレフィックス配布

【メッセージ】

```
dhcp6sd: Server delegation <prefix>/<prefixlen> to <duid> on <interface>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

IPv6 DHCP サーバが IPv6 DHCP クライアントに IPv6 プレフィックスを配布したことを示します。

【パラメタの意味】

<prefix>/<prefixlen>
IPv6 DHCP クライアントに配布した IPv6 プレフィックス
<duid>
IPv6 DHCP クライアントの DUID
<interface>
インタフェース名

1.14.7 アプリケーションフィルタによるパケット破棄

【メッセージ】

```
protocol: rejected at filter(<name>.<no>) : <SA> -> <DA>
```

【プライオリティ】

LOG_NOTICE

【意味】

アプリケーションフィルタによって、パケットが破棄されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
サーバ機能名
<no>
フィルタリング定義番号
破棄を行ったアプリケーションフィルタ定義のフィルタリング定義番号が出力されます。どのフィルタリング定義にも該当せず、デフォルト定義に従って破棄を行った場合、“default”と出力されます。
<SA>
送信元アドレス
<DA>
あて先アドレス

1.15　コンソールのメッセージ

1.15.1　ログイン成功

【メッセージ】

```
logon: login <user> as <class> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス

1.15.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
logon: failed login <user> on console
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールでログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

1.15.3　ログイン終了

【メッセージ】

```
logon: exit <user> as <class> on console [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンソールで exit した場合に出力されます。consoleinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
clear
clear line コマンドによる強制ログアウト
reset
reset コマンドによる強制ログアウト

1.16 telnet デーモンのメッセージ

1.16.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> as <class> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: login <user> as <class> on vty <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
telnet 接続元アドレス

1.16.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on telnet from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
telnet 接続元アドレス

【メッセージ】

```
telnetd: failed login <user> on vty <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
telnet 接続元アドレス

1.16.3　ログイン終了

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> as <class> on telnet from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
telnet 接続元アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

【メッセージ】

```
telnetd: exit <user> as <class> on vty <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

telnet で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
telnet 接続元アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
clear
clear line コマンドによる強制ログアウト
reset
reset コマンドによる強制ログアウト

1.17 ftp デーモンのメッセージ

1.17.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> as <class> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
ftpd: login <user> as <class> on ftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス

1.17.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
ftpd: failed login <user> on ftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス

1.17.3　ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
上書きされたファイル名

1.17.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
ftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
読み出されたファイル名

1.17.5　ログイン終了

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> as <class> on ftp from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

【メッセージ】

```
ftpd: exit <user> as <class> on ftp <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
clear
clear line コマンドによる強制ログアウト
reset
reset コマンドによる強制ログアウト

1.18　sshデーモンのメッセージ

1.18.1　sshホスト認証鍵生成開始

【メッセージ】

```
sshd: generating public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置のsshホスト認証鍵の生成を開始した場合に出力されます。

1.18.2　sshホスト認証鍵生成完了

【メッセージ】

```
sshd: generated public/private host key pair.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

本装置のsshホスト認証鍵の生成を完了した場合に出力されます。
本メッセージ出力後にssh接続できるようになります。

1.18.3　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
sshd: failed login <user> on ssh/sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sshまたはsftpでユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントのIPアドレス

1.19　sshログインデーモンのメッセージ

1.19.1　ログイン成功

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> as <class> on ssh from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sshで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントのIPアドレス

【メッセージ】

```
sshlogin: login <user> as <class> on ssh <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sshで正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントのIPアドレス

1.19.2　ログイン終了

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> as <class> on ssh from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

【メッセージ】

```
sshlogin: exit <user> as <class> on ssh <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ssh で exit した場合に出力されます。telnetinfo autologout コマンドの設定により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス

<interface_number>

インタフェース番号

<address>

クライアントの IP アドレス

<reason>

なし

exit コマンド実行によるログアウト

autologout

無操作監視による強制ログアウト

clear

clear line コマンドによる強制ログアウト

reset

reset コマンドによる強制ログアウト

1.20 sftp デーモンのメッセージ

1.20.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> as <class> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: login <user> as <class> on sftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス

1.20.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
クライアントの IP アドレス

【メッセージ】

```
sftpd: failed login <user> on sftp <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でユーザ名が違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス

1.20.3　ファイル蓄積完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Write complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル蓄積(クライアントからの put)により ROM が上書きされたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
上書きされたファイル名

1.20.4　ファイル回収完了

【メッセージ】

```
sftpd: <filename> Read complete
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ファイル回収(クライアントからの get)により ROM が読み出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<filename>
読み出されたファイル名

1.20.5　ログイン終了

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> as <class> on sftp from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
コンソールログインによる排他ログアウト

【メッセージ】

```
sftpd: exit <user> as <class> on sftp <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

sftp でのログインを終了した場合に出力されます。
15 分間無操作状態が続いて自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
クライアントの IP アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
clear
clear line コマンドによる強制ログアウト
reset
reset コマンドによる強制ログアウト

1.21 http/https のメッセージ

1.21.1 ログイン成功

【メッセージ】

```
httpd: login <user> as <class> on http from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
http 接続元アドレス

【メッセージ】

```
httpd: login <user> as <class> on http <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で正常にログインできた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
http 接続元アドレス

1.21.2　ログイン失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
httpd: failed login <user> on http from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<address>
http 接続元アドレス

【メッセージ】

```
httpd: failed login <user> on http <interface_number> from <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http でログインユーザ名またはパスワードが違うためにログインできなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
http 接続元アドレス

1.21.3　ログイン終了

【メッセージ】

```
httpd: exit <user> as <class> on http from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で exit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名

<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<address>
http 接続元アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
exclusive
ほかのログインによる排他ログアウト

【メッセージ】

```
httpd: exit <user> as <class> on http <interface_number> from <address> [(<reason>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

http で exit した場合に出力されます。時間制限による自動切断により強制 exit された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<user>
ログインユーザ名
<class>
ログインクラス
admin
管理者クラス
user
一般ユーザクラス
<interface_number>
インタフェース番号
<address>
http 接続元アドレス
<reason>
なし
exit コマンド実行によるログアウト
autologout
無操作監視による強制ログアウト
clear
clear line コマンドによる強制ログアウト
reset
reset コマンドによる強制ログアウト

1.21.4　セッション上限超過

【メッセージ】

```
httpsd: httpsd socket overflow
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

HTTPS セッションの同時接続数が上限を超過しました。

1.22 adminコマンドのメッセージ

1.22.1 admin成功

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

adminコマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
adminコマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で adminコマンドを実行した
sshexec
ssh で adminコマンドを実行した
cmdexec
コンソールで adminコマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
adminコマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で adminコマンドを実行した
ssh
ssh で adminコマンドを実行した
console
コンソールで adminコマンドを実行した

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> succeeded on <apl_name> <interface_number>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

adminコマンドで認証に成功し、正常に管理者クラスに移行できた場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
adminコマンドを実行したプログラム
telexec
telnetでadminコマンドを実行した
sshexec
sshでadminコマンドを実行した

cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
vty
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した
<interface_number>
インタフェース番号

1.22.2 admin 失敗(認証エラー)

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
admin コマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で admin コマンドを実行した
sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した

【メッセージ】

```
<name>: admin: authentication to <user> failed on <apl_name> <interface_number>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで認証に失敗し、管理者クラスに移行できなかった場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
admin コマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で admin コマンドを実行した
sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
vty
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した
<interface_number>
インタフェース番号

1.22.3 admin 終了

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit <user> on <apl_name>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
admin コマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で admin コマンドを実行した
sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した

<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
telnet
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した

【メッセージ】

```
<name>: admin: exit <user> on <apl_name> <interface_number>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

admin コマンドで管理者クラスに移行していた状態から一般ユーザクラスに復帰した場合に出力されます。

【パラメタの意味】

<name>
admin コマンドを実行したプログラム
telexec
telnet で admin コマンドを実行した
sshexec
ssh で admin コマンドを実行した
cmdexec
コンソールで admin コマンドを実行した
<user>
ログインユーザ名
<apl_name>
admin コマンドを実行したアプリケーション名
vty
telnet で admin コマンドを実行した
ssh
ssh で admin コマンドを実行した
console
コンソールで admin コマンドを実行した
<interface_number>
インタフェース番号

1.23 ProxyDNS のメッセージ

1.23.1 DNS プロキシの問い合わせパケット

【メッセージ】

```
proxydns: QNAME [<type>:<qname>] from <ipaddr> to <remote>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

発信契機となった DNS の問い合わせパケットの内容を示します。

【パラメタの意味】

<type>

問い合わせタイプ

<type>	番号	説明
“ A”	1	host address
“ NS”	2	authoritative server
“ CNAME”	5	canonical name
“ SOA”	6	start of authority zone
“ MB”	7	mailbox domain name
“ MG”	8	mail group member
“ MR”	9	mail rename name
“ NULL”	10	null resource record
“ WKS”	11	well known service
“ PTR”	12	domain name pointer
“ HINFO”	13	host information
“ MINFO”	14	mailbox information
“ MX”	15	mail routing information
“ TXT”	16	text strings
“ AAAA”	28	IP6 Address
“ SRV”	33	Server Selection
“ ANY”	255	wildcard match
“ Type[番号]”		上記以外

<qname>

問い合わせホスト名

<ipaddr>

発信元ホストの IP アドレス

<remote>

問い合わせ先ネットワーク名

1.23.2 エラー検知によるパケット破棄

【メッセージ】

```
proxydns: ERROR: record type <type>, class <class>, from <address>
QNAME [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_WARNING

【意味】

不正と思われる type や class を持つ DNS 要求を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>
DNS 要求パケットの Type の値
<class>
DNS 要求パケットの Class の値
<address>
DNS 要求発行元の IP アドレス
<name>
DNS 要求を行った名前

1.24 SNMP のメッセージ

1.24.1 SNMP 認証失敗

【メッセージ】

```
snmpd: authentication failed. from <address> [<name>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

許可のない SNMP ホストからのアクセスがあったことを示します。

【パラメタの意味】

<address>

SNMP 認証失敗の原因となった IP アドレス

<name>

SNMP 認証に使用されたコミュニティ名(SNMPv1/SNMPv2c 時)またはユーザ名(SNMPv3 時)

1.25 VRRP のメッセージ

1.25.1 VRRP グループ開始

【メッセージ】

```
nsm: vrrp group is started. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループが動作を開始したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
本装置に設定された VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス

1.25.2 マスタルータ／バックアップルータ／イニシャル切り替わり

【メッセージ】

```
nsm: vrrp state is changed into the <state> state. <interface>
vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP 状態が<state> で示された状態に変更されたことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
本装置に設定された VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス
<state>
変更後の状態
master
マスタルータ
backup
バックアップルータ
Initialize
イニシャル

1.25.3　インタフェースアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid>
[<address>] No.<trigger_no> interface <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface>、<vrid> および<trigger_no> が示す番号で定義されたインタフェーストリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>
変更後の状態
up
トリガに設定されたインタフェースがアップし、トリガが不適用になりました。
down
トリガに設定されたインタフェースがダウンし、トリガが適用されました。
<interface>
インタフェース名
<vrid>
本装置に設定された VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス
<trigger_no>
トリガ定義番号
<target_if>
トリガの対象となるインタフェース名

1.25.4　ルートアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid>
[<address>] No.<trigger_no> route <target_route> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたルートトリガが発生し、状態が<state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>
変更後の状態
up
トリガに設定された経路が復旧し、トリガが不適用になりました。
down
トリガに設定された経路が損失し、トリガが適用されました。

<interface>
インタフェース名
<vrid>
本装置に設定された VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス
<trigger_no>
トリガ定義番号
<target_route>
トリガの対象となる経路
<target_if>
トリガの対象となる経路のパケット送出インタフェース名

1.25.5　ノードアップ／ダウントリガイベント発生

【メッセージ】

```
nsm: vrrp <state> trigger event occurred. <interface> vrid<vrid>
[<address>] No.<trigger_no> node <target_node> <target_if>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> と<trigger_no> が示す番号で定義されたノードトリガが発生し、トリガの状態が <state> になったことを示します。

【パラメタの意味】

<state>
変更後の状態
up
トリガに設定されたノードがアップし、トリガが不適用になりました。
down
トリガに設定されたノードがダウンし、トリガが適用されました。
<interface>
インタフェース名
<vrid>
本装置に設定された VRID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス
<trigger_no>
トリガ定義番号
<target_node>
トリガの対象となるノードの IP アドレス
<target_if>
トリガに設定された ICMP ECHO パケット送出インタフェース名

1.25.6　マスタルータダウン検出

【メッセージ】

```
nsm: vrrp master router down detection. <interface> vrid<vrid>
[<address>] #<code>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> と<vrid> が示す VRRP グループのマスタルータのダウンを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
ダウンしたマスタルータの VRID
<address>
異常を検出したマスタルータの実 IP アドレス
<code>
検出した異常の種類
01
マスタルータ放棄
(優先度 0 の VRRP-AD 受信)
02
VRRP-AD 受信タイムアウト

1.25.7 受信 VRRP-AD TTL 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid TTL. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに TTL が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1.25.8 受信 VRRP-AD HopLimit 異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet include invalid HopLimit. from <interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに HopLimit が 255 でない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1.25.9　受信 VRRP-AD 認証タイプ異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication method mismatched. from
<interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証方法の一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1.25.10　受信 VRRP-AD 認証パスワード異常

【メッセージ】

```
nsm: vrrp packet authentication data check failed. from
<interface> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<interface> が示すインタフェースに認証パスワードの一致しない VRRP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<address>
受信した VRRP パケットの送信元 IP アドレス

1.25.11　仮想ルータの IP アドレスとホストルート同一アドレス設定

【メッセージ】

```
nsm: vrrp failed to change into the master state, because of conflict with virtual route IP address.
<interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

仮想ルータの IP アドレスがルーティングテーブルのホストルートと重複したため、マスタになることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
マスタへの切り替わりに失敗した該当グループ ID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス

1.25.12 ハードウェア資源不足

【メッセージ】

```
nsm: vrrp failed to change into the master state, because of DEF_IP is
filled. <interface> vrid<vrid> [<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ハードウェアの資源不足によって、マスタになることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<interface>
インタフェース名
<vrid>
マスタへの切り替わりに失敗した該当グループ ID
<address>
VRID の仮想 IP アドレス

1.26 ブリッジ／STP のメッセージ

1.26.1 異常 BPDU フレーム受信

【メッセージ】

```
mstpd: Invalid BPDU received on port <port_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

フレーム長異常やサポート範囲外の BPDU バージョンのフレームを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
受信したポート番号(1～)

1.26.2 無効 BPDU フレーム受信

【メッセージ】

```
mstpd: Could not validate BPDU version(<type>) on port <port_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モードと一致しない BPDU フレームを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<version>
受信した BPDU タイプの値
<port_no>
受信したポート番号(1～)

1.26.3 ポート情報作成失敗(内部情報作成時)

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add port(<port>) to br(<bridge>) in <action>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

<bridge>
ブリッジ名
<action>
作成失敗時の動作

1.26.4　ポート情報作成異常(インスタンス情報追加時)

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add port(<port>) to instance <instance_id> (<info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTP 使用時にインスタンス用ポート情報の追加に失敗し、ポート情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<instance_id>
インスタンス番号
<info>
異常時内部情報

1.26.5　インスタンス情報への VLAN 追加異常

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot add vlan <vid> to instance <instance_id> : absent in
common instance
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTP 使用時にインスタンス情報への VLAN 追加が異常となり、インスタンス情報が作られなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VID
<instance_id>
インスタンス番号

1.26.6　BPDU 転送モード設定異常

【メッセージ】

```
mstpd: Cannot set BPDU Forwarding mode on port(<port_no>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

BPDU 転送モード設定がポートに対して行えなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
設定が行えなかったポート番号(1～)

1.26.7　定義反映異常(STP 動作モード)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot disable MSTP for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード(STP 無効時)の定義反映が異常となったことを示します。

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot enable MSTP for bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 動作モード(STP 有効時)の定義反映が異常となったことを示します。

1.26.8　定義反映異常(stp age コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-age(<max_age>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大有効時間の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<max_age>
設定しようとした最大有効時間

1.26.9　定義反映異常(stp delay コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set forward-time(<delay_time>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大中継遅延時間の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<delay_time>
設定しようとした最大中継遅延時間

1.26.10 定義反映異常(stp hello コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set hello-time(<hello>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

構成 BPDU の送信間隔の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<hello>
設定しようとした送信間隔

1.26.11 定義反映異常(stp domain priority コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority(<priority>) on instance
(<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

インスタンス番号で指定されたブリッジ優先度の定義反映が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<priority>
設定しようとしたブリッジ優先度
<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

1.26.12 定義反映異常(stp config_id コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set region
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MST 構成情報のリージョン名が設定されなかったことを示します。

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set revision-level(<level>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MST 構成情報のリビジョンレベルが設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<level>
設定しようとしたリビジョンレベル

1.26.13 定義反映異常(stp max-hops コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set max-hops(<hop>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大ホップカウントの定義反映が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<hop>
設定しようとした最大ホップカウント

1.26.14 定義反映異常(ether stp コマンド)

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set path cost for port <port>
(instance=<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>へのパスコスト設定が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot set priority for port <port>
(instance=<instance_type>:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>へのポート優先度設定が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<instance_type>
設定しようとしたインスタンスタイプ
<instance_id>
設定しようとしたインスタンス番号

【メッセージ】

```
mstpd: [CONFIG]: Cannot create interface(<port>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<port>に関連したインタフェース情報生成が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)

1.26.15　内部通信ソケット異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error opening socket (<err>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MSTPD で使用するソケット生成が異常になったことを示します。

【パラメタの意味】

<err>
エラー番号

1.26.16　構成定義展開異常

【メッセージ】

```
mstpd: Error mstpd configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時の構成定義展開処理が異常になったことを示します。

1.26.17　STP ポート情報異常

【メッセージ】

```
mstpd: Incorrect info type value received <info>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RSTP/MSTP 使用時のポート情報が不正であるため、ポートの役割が正しく決定しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<info>
内部情報

1.26.18　未サポートメッセージ受信

【メッセージ】

```
mstpd: Unknown msg_type received for port <port> - <type>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

L2NSM から MSTP が未サポートのメッセージを受信して破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
ポート名(ethxx)
<type>
受信メッセージタイプ値

1.26.19　STP 内部情報領域獲得異常

【メッセージ】

```
mstpd: Could not allocate memory for <resource>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

STP 内部情報で使用する資源の獲得が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<resource>
獲得できなかった資源情報

1.26.20 トポロジチェンジ検出

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change detected
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたことを示します。

1.26.21 ルートブリッジ

【メッセージ】

```
mstpd: Bridge became new Root Bridge
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

装置がルートブリッジになったことを示します。

1.26.22 インスタンスのトポロジチェンジ検出

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change detected(instance:<instance_id> last-port:
<port_no> all-ports:<port_list>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<instance_id>で示すインスタンスでトポロジの変更が検出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
トポロジ検出したインスタンス番号

<port_no>
トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号

<port_list>
本トポロジ検出時に状態変更したほかのポート番号リスト

1.26.23　インスタンスのルートブリッジ

【メッセージ】

```
mstpd: Bridge became new Root Bridge(instance:<instance_id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<instance_id>で示すインスタンスで装置がルートブリッジになったことを示します。

【パラメタの意味】

<instance_id>
ルートブリッジになったインスタンス番号

1.26.24　トポロジチェンジ検出ポート情報

【メッセージ】

```
mstpd: Topology Change ports information(<instance_type> last-port:<port_no>
all-ports:<port_list>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

トポロジの変更が検出されたポート情報を示します。

【パラメタの意味】

<instance_type>
トポロジ検出を行ったインスタンスタイプ
<port_no>
トポロジ検出時に最後に状態変更したポート番号
<port_list>
本トポロジ検出時に状態変更をしたほかのポート番号リスト

1.27　ブロードキャスト／マルチキャストストーム制御のメッセージ

1.27.1　異常検出メッセージ

【メッセージ】

```
protocol: Reception of the <frame_type> frame exceeded restriction.
<ether=<ether_num>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視していた受信レートがしきい値を超えたことを示します。

【パラメタの意味】

<frame_type>
しきい値を超えたフレーム種別
multicast:
マルチキャストフレーム
broadcast:
ブロードキャストフレーム
<ether_num>
ether ポート番号

1.27.2　復旧検出メッセージ

【メッセージ】

```
protocol: Reception of the <frame_type> frame returned in restriction.
<ether=<ether_num>>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視していた受信レートがしきい値の範囲に復帰したことを示します。

【パラメタの意味】

<frame_type>
しきい値範囲に復帰したフレーム種別
multicast:
マルチキャストフレーム
broadcast:
ブロードキャストフレーム
<ether_num>
ether ポート番号

1.28 LLDP 関連のメッセージ

1.28.1 送信 LLDPDU のオーバフロー

【メッセージ】

```
lldpd: ether <number> send LLDPDU size overflow.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

LLDP 情報が送信可能なフレーム長を超えたため、送信する LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
送信 LLDPDU にすべての LLDP 情報を入れることができなかったポートのポート番号

1.29 認証関連のメッセージ

1.29.1 VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: Specified vlan <vid> failed in the port <ether_num> addition
because of unregistration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証機能によって、認証ポートへ割り当て指定された VLAN が、装置に未登録の VLAN ID であるため、指定ポートへの VLAN 設定が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

認証割り当て VLAN ID

<ether_num>

ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: Specified vlan <vid> failed in the port <ether_num> addition
because vid not change.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証機能によって、認証ポートへ割り当て指定された VLAN が、認証前の状態で登録済みの VLAN ID と同一であるため、指定ポートへの VLAN 設定が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>

認証割り当て VLAN ID

<ether_num>

ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: Specified vlan <vid> failed in the port <ether_num> addition
because different vlan has been already registered.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当ポートにはすでに認証された端末が存在し、異なる VLAN ID が登録されているために指定された VLAN の登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
認証割り当て VLAN ID
<ether_num>
ポート番号

【メッセージ】

```
protocol: Specified authenticated mac <mac_addr> failed in the port
<ether_num> addition. because there is no entry that registers this MAC address.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証端末の MAC アドレスの登録がエントリ不足により失敗したため、認証端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<ether_num>
ポート番号

1.29.2 最大認証端末数の超過

【メッセージ】

```
protocol: Specified authenticated mac <mac_addr> failed in the port
<ether_num> addition. because the number of maximum entries was exceeded.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証端末数が最大数を超過したため、認証端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<ether_num>
ポート番号

1.29.3 認証機能の競合

【メッセージ】

```
protocol: ether <ether_num> has already been authenticated
by <auth_func>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当ポートはすでに<auth_func>によって認証状態のために指定されたVLANの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ポート番号
<auth_func>
認証機能
dot1x
IEEE802.1X認証
webauth
Web認証
macauth
MACアドレス認証

【メッセージ】

```
protocol: Supplicant has already been authenticated by <auth_func>.
[ether <ether_num>, mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

該当端末はすでに<auth_func>によって認証状態のために指定されたVLANの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末のMACアドレス
<auth_func>
認証機能
dot1x
IEEE802.1X認証
webauth
Web認証
macauth
MACアドレス認証

1.30 IEEE802.1X 認証関連のメッセージ

1.30.1 IEEE802.1X 認証初期化失敗

【メッセージ】

```
authd: open_supplicant: Error opening socket (<errno>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<errno>
エラー番号

1.30.2 認証成功

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is accepted on ether <port_no>
[<mac_addr> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名

1.30.3 認証失敗

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is denied on ether <port_no>
[<mac_addr> user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

IEEE802.1X 認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名

1.30.4 ユーザログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on ether <port_no> due to user request
[<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ユーザからの要求によりログオフしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名

1.30.5 ユーザの強制ログオフ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is logged-off on ether <port_no> due to link error or reconfiguration [<username>]
l2nsm: Supplicant is logged-off on ether <port_no> due to link error or reconfiguration [<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンク異常または構成定義変更によりユーザを強制的にログオフにしたことを示します。
また、dot1xctl initialize コマンドによりポートが初期化された場合にも出力されます。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名

1.30.6 VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
authd: VLAN registration failed [ether <port_no>,user=<username>,VLAN ID=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

AAA または認証サーバから通知された VLAN ID と同一 ID のポートが存在しないなどの理由により登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
AAA または認証サーバから通知された VLAN ID

1.30.7 メモリ不足による課金開始または課金終了の失敗

【メッセージ】

```
authd: accounting <request> request failed for <username>/<mac_addr>(ether <port_no>) on aaa <aaa_gid>:
memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足により課金開始または課金終了要求の送信に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<request>
課金要求の種別
start
課金開始要求
stop
課金終了要求
<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<aaa_gid>
AAA グループ ID

1.30.8 メモリ不足による認証失敗

【メッセージ】

```
authd: authentication request failed for <username>/<mac_addr>(ether <port_no>) on aaa <aaa_gid>: memory
allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足により認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<aaa_gid>
AAA グループ ID

1.30.9 認証サーバの通知メッセージ異常

【メッセージ】

```
authd: EAP packet cannot be found within RADIUS/AAA response
[ether <port_no>:mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバ側の設定などの要因により、認証サーバから通知された応答に EAP パケットが含まれていなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス

1.30.10 VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
authd: no tunnel attribute is included [ether <port_no>,
user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てる VLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名

1.30.11 認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
authd: illegal tunnel attribute is contained [ether <port_no>,user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中に含まれる VLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名

1.30.12 認証再試行

【メッセージ】

```
authd: authentication is restarted on ether <port_no> [cause=<cause>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

<cause>で示された要因により認証処理を再試行したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<cause>
認証再試行の要因
表示される要因には以下のものがあります。

- EAPOL-start
  認証途中の EAPOL-start メッセージ受信
- EAPOL-logoff
  認証途中の EAPOL-logoff メッセージ受信
- supplicant timeout
  認証途中のサプリカントからのメッセージ受信タイムアウト発生

1.30.13　最大 ID 長オーバ

【メッセージ】

```
authd: Identity Response is ignored on ether <port_no>
(too long user name) [user=<username>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末(Supplicant)から通知されたユーザ名がシステムで扱える最大長を超えたため、メッセージが無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<username>
ユーザ名

1.30.14　収容サプリカント数オーバ

【メッセージ】

```
authd: Supplicant is denied on ether <port_no> because of over supplicant
limit [<macaddr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

収容可能な端末(Supplicant)を超えて認証の要求を受信したために、認証を拒否したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<macaddr>
端末の MAC アドレス

1.31 Web 認証関連のメッセージ

1.31.1 認証成功

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication is accepted on ether <port_no> [<mac_addr> user=<username> vid=<vlan_id>
No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
AAA または認証サーバから通知された VLAN ID
<host>
認証端末番号

1.31.2 認証失敗

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication is denied on ether <port_no>
[<mac_addr> user=<username> vid=<vlan_id> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
AAA または認証サーバから通知された VLAN ID
通知以前の場合は"NOTASSIGNED"
<host>
認証端末番号

1.31.3　状態の初期化

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication initialize on ether <port_no>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

リンク異常により認証前の状態に戻ったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

1.31.4　認証中断

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication cancel authentication cause <cause> on ether
<port_no> [<mac_addr> user=<username> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

異常により認証を中断して、認証前の状態に戻ったことを示します。

【パラメタの意味】

<cause>
異常理由
- linkdown
  リンク異常
- logout
  認証モード変更のためのログアウト処理
- change config
  Web 認証ポートでなくなった

<port_no>
ポート番号

<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス

<username>
ユーザ名

<host>
認証端末番号

1.31.5　VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication VLAN ID set failure on ether <port_no>
[<mac_addr> user=<username> vid=<vlan_id> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

AAA または認証サーバから通知された VLAN ID と同一 ID のポートが存在しないなどの理由により、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
AAA または認証サーバから通知された VLAN ID
<host>
認証端末番号

【メッセージ】

```
protocol: Specified authenticated mac <mac_addr> failed in the port
<ether_num> addition. because this address has already been registered.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証端末の MAC アドレスがすでに認証不要端末として登録済みのため、認証端末の登録が設定されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ether_num>
ether ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス

1.31.6 Web 認証初期化失敗

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication can't open socket on ether <port_no>
[status=<status>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証用のソケットの生成に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<status>
内部状態

1.31.7 Web 認証有効な状態の終了

【メッセージ】

```
httpd: Web authentication <cause> on ether <port_no>
[<mac_addr> user=<username> vid=<vlan_id> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

Web 認証有効な状態から認証前の状態に戻ったことを示します。

【パラメタの意味】

<cause>
Web 認証有効な状態を終了した要因
表示される要因には以下のものがあります。
- autologout
  Web 認証有効時間が満了した場合
- logout
  ほかの要因により Web 認証有効な状態を終了した場合

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
認証していた VLAN ID
<host>
認証端末番号

1.31.8 VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
httpd: no tunnel attribute is included. Web authentication use default-vid
on ether <port_no> [<mac_addr> user=<username> vid=<vlan_id> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てる VLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルト VLAN で登録を実施することを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
デフォルト VLAN ID
<host>
認証端末番号

1.31.9　認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
httpd: illegal tunnel attribute is contained. Web authentication use
default-vid on ether<port_no> [<mac_addr> user=<username>
vid=<vlan_id> No.=<host>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中に含まれる VLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルト VLAN で登録を実施することを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<username>
ユーザ名
<vlan_id>
デフォルト VLAN ID
<host>
認証端末番号

1.31.10　カスタマイズファイルの取得成功

【メッセージ】

```
webauthd: Download customized <file> success.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カスタマイズ画面の取得が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<file>

page
カスタマイズ画面ファイル

logo
ロゴ画像ファイル

1.31.11 カスタマイズファイルの取得失敗

【メッセージ】

```
webauthd: Download customized page and logo fail : <reason1>.
webauthd: Download customized <file> fail : <reason2>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カスタマイズ画面の取得が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<file>

page
カスタマイズ画面ファイル

logo
ロゴ画像ファイル

<reason1>

FTP address is not set
FTP サーバの IP アドレスが設定されていない

TFTP address is not set
TFTP サーバの IP アドレスが設定されていない

FTP username is not set
ユーザ ID が設定されていない

Connection failed
サーバへの接続に失敗した

Login failed
サーバへのログインに失敗した

<reason2>

File size overflow
ファイルサイズが上限を超過している

File not found
ファイルの取得に失敗した

1.32 MACアドレス認証関連のメッセージ

1.32.1 認証成功

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is accepted on ether <port_no>
[<mac_addr> vid=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MACアドレス認証による認証が成功したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末のMACアドレス
<vlan_id>
AAAまたは認証サーバから通知されたVLAN ID

1.32.2 認証失敗

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is denied on ether <port_no> [<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MACアドレス認証により認証が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末のMACアドレス

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication is already reached the number of maximum terminals on ether <port_no>
[<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

すでにMACアドレス認証で同時認証端末数まで認証済みのために、認証の実行が拒否されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス

1.32.3 VLAN 登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication VLAN ID set failure on ether <port_no>
[<mac_addr> vid=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

AAA または認証サーバから通知された VLAN ID と同一 ID のポートが存在しないなどの理由により、登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<vlan_id>
AAA または認証サーバから通知された VLAN ID

1.32.4 MAC アドレス認証状態の終了

【メッセージ】

```
protocol: MAC authentication logout on ether <port_no> [<mac_addr> vid=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

MAC アドレス認証有効な状態から認証前の状態に戻ったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号
<mac_addr>
認証される端末の MAC アドレス
<vlan_id>
認証していた VLAN ID

1.32.5　VLAN 情報なしによるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
protocol: no tunnel attribute is included [ether <port_no>,mac=<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中にユーザに割り当てる VLAN 情報が含まれていなかったためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

<address>
認証される端末の MAC アドレス

1.32.6　認証サーバからの通知情報異常によるデフォルト VLAN への割り当て

【メッセージ】

```
protocol: illegal tunnel attribute is contained
[ether <port_no>,mac=<address>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

認証サーバからの認証成功通知の中に含まれる VLAN 情報に不当なデータが検出されたためにデフォルト VLAN で登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
ポート番号

<address>
認証される端末の MAC アドレス

1.33　接続端末数制限機能のメッセージ

1.33.1　接続端末検出

【メッセージ】

```
<component>: The first connection was detected on ether
<ether_num> [<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末の接続を検出し、管理テーブルに登録されたことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- bcmL2X.0
- bcmL2X.1

<ether_num>

ether ポート番号

<mac_addr>

MAC アドレス

1.33.2　不正接続端末検出

【メッセージ】

```
<component>: An illegal connection was detected on ether
<ether_num> [<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

接続端末数制限を超えた不正な接続端末を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<component>

出力コンポーネント名

- bcmL2X.0
- bcmL2X.1

<ether_num>

ether ポート番号

<mac_addr>

MAC アドレス

1.34 ARP 認証関連のメッセージ

1.34.1 不正 MAC アドレス検出

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication illegal MAC address detected <mac_address>(<ip_address>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能が登録されていない MAC アドレスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>
登録されていない MAC アドレス
<ip_address>
ARP パケットの送信元 IP アドレス

1.34.2 登録済み MAC アドレス検出

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication accepted <mac_address>(<ip_address>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能が登録されている MAC アドレスを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_address>
登録されている MAC アドレス
<ip_address>
ARP パケットの送信元 IP アドレス

1.34.3 端末数超過

【メッセージ】

```
protocol: ARP authentication table overflow
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ARP 認証機能が管理可能な端末数を超えて ARP パケットを受信したことを示します。

1.35 ether L3 監視機能のメッセージ

1.35.1 ether L3 監視(異常検出)

【メッセージ】

```
protocol: <port_type> <num> icmpwatch host is down. <address>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視先ノード、または接続回線に障害が発生し、異常が検出されたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_type>
ポートの種別(ether、linkaggregation)
<num>
ポート種別が ether の場合は ether ポート番号
ポート種別が linkaggregation の場合はリンクアグリゲーショングループ番号
<address>
監視先 IP アドレス

1.36 DHCP スヌープ

1.36.1 エントリ登録失敗

【メッセージ】

```
protocol: DHCP snoop cannot register the binding entry on <reason> [<num>] <mac_addr>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

DHCP スヌープのエントリ登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<reason>

登録失敗の要因

表示される要因には以下のものがあります。

- machine
  エントリ数が装置全体での最大値に達している
- ether
  エントリ数が ether ポート上での最大値に達している

<num>

登録失敗の要因が ether の場合は、登録に失敗した ether ポート番号

<mac_addr>

登録に失敗した端末の MAC アドレス

1.37 IGMP スヌープ

1.37.1 マルチキャストエントリ登録失敗

【メッセージ】

```
mstpd: cannot register the multicast group entry
[<group_addr>(<vlan_id>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

マルチキャスト転送を制御するエントリの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_addr>
登録に失敗したグループアドレス
<vlan_id>
登録に失敗した VLAN ID

1.37.2 マルチキャストエントリオーバフロー

【メッセージ】

```
mstpd: cannot be registered due to limit over [<group_addr>(<vlan_id>)]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

登録可能なエントリ数を超えたためにマルチキャストエントリの登録に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<group_addr>
登録に失敗したグループアドレス
<vlan_id>
登録に失敗した VLAN ID

1.38　ループ検出機能のメッセージ

1.38.1　ループ検出

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol detects a loop in port <port1>
and port <port2>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ループ検出機能により、ループを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<port1>
フレームを受信したポート
<port2>
フレームを送信したポート

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol detects a loop in port <port1> from [<machine> <mac> port<port2>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他装置からのループ監視フレーム受信により、ループを検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<port1>
監視フレームを受信したポート
<machine>
監視フレームを送信した装置名称(sysname、未設定時は機種名、最大 16 文字)
<mac>
監視フレームを送信した装置の MAC アドレス
<port2>
監視フレームを送信した装置の送信ポート

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol detects a loop in port <port> by receiving the PAUSE frame
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ループ検出状態中に PAUSE フレームを受信したため、ループ状態が継続しているとみなしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port>
PAUSE フレームを受信したポート

1.38.2　ループ検出によるポート遮断

【メッセージ】

```
l2loopd: Configuration Testing Protocol <status> port <port>
l2nsm: Configuration Testing Protocol <status> port <port>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ループ検出機能により、ポート遮断またはポート遮断を解除したことを示します。

【パラメタの意味】

<status>
blocked
遮断
unblocked
遮断解除
<port>
ポート番号

1.39 MACテーブルフラッシュ機能のメッセージ

1.39.1 監視MACアドレスの学習ポートの移動検出

【メッセージ】

```
<component>: MAC learning entry moved from
<type1> <port1> to <type2> <port2> [<mac_addr> vid=<vlan_id>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

監視対象のMACアドレスの学習ポートの移動を検出したこと示します。

【パラメタの意味】

<component>
出力コンポーネント名
- protocol
- bcmL2X.0
- bcmL2X.1

<type1>
移動前のポート種別(ether,linkaggregation)

<port1>
ポート種別がetherの場合は移動前のetherポート番号
ポート種別がlinkaggregationの場合は移動前のリンクアグリゲーショングループ番号

<type2>
移動後のポート種別(ether,linkaggregation)

<port2>
移動後のポート
ポート種別がetherの場合は移動後のetherポート番号
ポート種別がlinkaggregationの場合は移動後のリンクアグリゲーショングループ番号

<mac_addr>
監視対象のMACアドレス

<vlan_id>
VLAN ID

1.40 SSL のメッセージ

1.40.1 SSL 接続失敗

【メッセージ】

```
sslproxy: SSL/TLS handshake failed. <src_addr> -> <dst_addr>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

SSL ハンドシェイクに失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<src_addr>
SSL コネクションの自側 IP アドレス

<dst_addr>
SSL コネクションの相手側 IP アドレス

1.41 AAA/RADIUS のメッセージ

1.41.1 RADIUS アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: <id>(<session_id>) received service for <session_time>
seconds, received <input_packets> packets(<input_bytes> bytes),
sent <output_packets> packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>
User_Name
アクセスユーザ名

<session_id>
Acct-Session-Id
同一セッションを示す一意の識別子

<session_time>
Acct-Session-Time
セッション開始から終了までの時間

<input_packets>
Acct-Input-Packets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したパケット数

<input_bytes>
Acct-Input-Octets
RADIUS クライアントがアクセスユーザから受信したデータ量

<output_packets>
Acct-Output-Packets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したパケット数

<output_bytes>
Acct-Output-Octets
RADIUS クライアントからアクセスユーザに対して送信したデータ量

1.41.2 RADIUS 認証サーバ未応答

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから認証結果が通知されなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.3 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>:
no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング開始の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.4 RADIUS アカウンティングサーバ未応答(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa
<group_id>: no response received.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS アカウンティングサーバからアカウンティング終了の通知がされなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.5 RADIUS 認証同時要求数オーバ

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.6 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>:
request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.7 RADIUS アカウンティング同時要求数オーバ(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>:
request too much.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、同時要求数が RADIUS プロトコルで扱える上限数を超えたため、要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.8　RADIUS 認証構成定義無効

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.9　RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>:
invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.10　RADIUS アカウンティング構成定義無効(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>:
invalid configuration.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS の構成定義が無効だったため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.11 RADIUS 認証メモリ枯渇

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、メモリが枯渇したため、要求を破棄し認証を失敗させたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.12 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>:
memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.13 RADIUS アカウンティングメモリ枯渇(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>:
memory allocation failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、メモリが枯渇したため要求を破棄し RADIUS サーバに送信しなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.14 RADIUS 認証共有鍵不一致

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa <group_id>:
bad authentication secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.15 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング開始時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting start request failed for <id> on aaa <group_id>:
bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.16 RADIUS アカウンティング共有鍵不一致(アカウンティング終了時)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: accounting stop request failed for <id> on aaa <group_id>: bad accounting secret.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントのアカウンティング要求に対して、RADIUS サーバから応答を受け取ったものの共有鍵が一致しないため応答を破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.17 ローカル認証 DB アカウンティング情報の表示

【メッセージ】

```
aaad: <id>() received service for <session_time> seconds,
received <input_packets> packets(<input_bytes> bytes), sent <output_packets> packets(<out_bytes> bytes).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ローカル認証 DB のアカウンティング情報を示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<session_time>
セッション開始から終了までの時間
<input_packets>
アクセスユーザが受信したパケット数
<input_bytes>
アクセスユーザが受信したデータ量
<output_packets>
アクセスユーザが送信したパケット数
<output_bytes>
アクセスユーザが送信したデータ量

1.41.18 Access-Challenge の受信

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: Access-Challenge not support (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントが本装置で未サポートの Access-Challenge を受信したため、アクセスユーザの認証に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.41.19 Message-Authenticator 不適性

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received Message-Authenticator have unmatched value (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した RADIUS パケットの Message-Authenticator が一致しなかったため、受信パケットが改ざんされているものとして、破棄したことを意味します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.41.20 EAP-Message の破棄(Message-Authenticator 未添付)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: received EAP-Message without Message-Authenticator (<id>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP-Message を含む RADIUS パケットに必須アトリビュートである Message-Authenticator 属性が添付されていなかったため、 受信パケットを破棄したことを意味します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

1.41.21 アトリビュート作成失敗(送信バッファオーバフロー)

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: attribute <attr_type> create failed. send buffer overflow
for aaa group <group_id> user id <id>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバからクライアントに送信するアクセスユーザのユーザ情報が大き過ぎるため、送信パケットを破棄したことを意味します。RADIUS サーバは 4096 バイト以上の認証結果をクライアントに通知できないため、アクセスユーザのユーザ情報に多数の経路情報を定義した場合などに、上記理由により送信パケットが破棄されることがあります。

【パラメタの意味】

<attr_type>
オーバフローしたアトリビュートの属性値
<group_id>
AAA グループ ID
<id>
アクセスユーザ名

1.41.22 認証処理失敗(メモリ枯渇)

【メッセージ】

```
aaad: cannot process due to no resource [mac=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ不足のため、認証要求が無視されたことを示します。

【パラメタの意味】

<mac_addr>
認証要求が無視された端末の MAC アドレス

1.41.23 未サポート EAP オプション受信

【メッセージ】

```
aaad: received option is not supported [option=<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信した EAP に未サポートのオプションが含まれていたことを示します。

【パラメタの意味】

<code>
未サポートのオプションコード

1.41.24　認証アルゴリズム不一致

【メッセージ】

```
aaad: desirable algorithm by supplicant is not MD5 [desired
type=<algorithm>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末(Supplicant)から MD5 以外の認証アルゴリズムを要求されたために、認証が失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<algorithm>
端末(Supplicant)側が要求したアルゴリズムコード

1.41.25　未サポートのパケット受信

【メッセージ】

```
aaad: received unrecognized code packet [<code>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

未サポートパケットコードの EAP パケットを受信したことを示します。

【パラメタの意味】

<code>
未サポートのパケットコード

1.41.26　パケットシーケンスエラー検出

【メッセージ】

```
aaad: unexpectable message received [type=<type>, host=<mac_addr>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

パケットシーケンス異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<type>
パケットタイプ
<mac_addr>
端末(Supplicant)の MAC アドレス

1.41.27 メモリ枯渇による認証失敗

【メッセージ】

```
aaad: cannot allocate memory to indicate about authentication result
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

メモリ枯渇により認証処理が失敗したことを示します。

1.41.28 RADIUS 認証取り消し

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: authentication request failed for <id> on aaa
<group_id>: authentication canceled.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS クライアントの認証要求に対して、認証依頼元が認証要求を取り消したことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.41.29 RADIUS 認証サーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa
<group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID
<number>
認証サーバ定義番号

1.41.30 RADIUS 認証サーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius authentication server <number> on aaa
<group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS 認証サーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID

<number>
認証サーバ定義番号

1.41.31 RADIUS アカウンティングサーバダウン

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa
<group_id> dead.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが alive 状態から dead 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID

<number>
アカウンティングサーバ定義番号

1.41.32 RADIUS アカウンティングサーバ復旧

【メッセージ】

```
aaa_radiusd: radius accounting server <number> on aaa
<group_id> alive.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS アカウンティングサーバが dead 状態から alive 状態になったことを示します。

【パラメタの意味】

<group_id>
AAA グループ ID

<number>
アカウンティングサーバ定義番号

1.41.33 端末 MAC アドレス収集限界

【メッセージ】

```
aaad: mac collect table full
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

最大数まで端末 MAC アドレスを収集したため、これ以上の新しい端末 MAC アドレスの収集はできないことを示します。

1.41.34 アクセスユーザのゲストユーザとしての受け入れ

【メッセージ】

```
aaad: authentication request failed for <id> on aaa
<group_id>: accept as guest.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

アクセスユーザの認証は失敗しましたが、ゲストとしてアクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名

<group_id>
AAA グループ ID

1.41.35 サーバダウン時認証成功

【メッセージ】

```
aaad: radius authentication server dead for <id> on aaa <group_id>: authentication request succeeded
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

RADIUS サーバが dead 状態で、アクセスが許可されたことを示します。

【パラメタの意味】

<id>
アクセスユーザ名
<group_id>
AAA グループ ID

1.42 USB メモリ関連のメッセージ

1.42.1 USB メモリの挿入

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is inserted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが挿入されたことを示します。

1.42.2 USB メモリの抜出

【メッセージ】

```
mountd: USB memory is ejected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリが抜出されたことを示します。

1.42.3 USB デバイス接続

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Detected.
INTR: USB Device Detected.
musbd: [USB] USB Device Detected.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが接続されたことを示します。

1.42.4 USB デバイス切断

【メッセージ】

```
usbd: USB Device Disconnect Completed.
INTR: USB Device Disconnect Completed.
musbd: [USB] USB Device Disconnect Completed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB デバイスが切断されたことを示します。

1.42.5　USB VBUS 過電流発生

【メッセージ】

```
usbd: USB VBUS Over Current Occured.
INTR: USB VBUS Over Current Occured.
musbd: [USB] USB VBUS Over Current Occured.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB で、VBUS 過電流が発生したことを示します。

1.42.6　ファイルシステムの不正

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken. need format.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリを挿入したがファイルシステムが異常であり、フォーマットが必要なことを示します。

1.42.7　I/O エラー

【メッセージ】

```
mountd: I/O error on USB memory.
cmdexec: I/O error on USB memory.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中に I/O エラーが発生したことを示します。

1.42.8　ファイルシステムの不整合

【メッセージ】

```
mountd: file system on USB memory is broken.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリのアクセス中にファイルシステムの不整合を検出したことを示します。

1.43 USB マスストレージ制御関連のメッセージ

1.43.1 USB マスストレージクラスデバイスの認識成功

【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing complete.
musbh_storage: [USB] Mass storage device initializing complete.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識したことを示します。

1.43.2 USB マスストレージクラスデバイスの認識失敗

【メッセージ】

```
usbh_storage: Mass storage device initializing failed.
musbh_storage: [USB] Mass storage device initializing failed.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の挿入検出時、挿入されたデバイスを正常なマスストレージクラスデバイスと認識できなかったことを示します。

1.43.3 USB デバイス抜去待ち状態

【メッセージ】

```
usbh_storage: Waiting for unplugging the USB device.
musbh_storage: [USB] Waiting for unplugging the USB device.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常などを検出し、USB メモリの抜去待ち状態に入ったことを示します。

1.43.4 USB デバイスエラー発生

【メッセージ】

```
usbh_storage: Error occured. : <error> at <state>.
musbh_storage: [USB] Error occured. : <error> at <state>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

USB メモリ(マスストレージクラスデバイス)の異常を検出したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
エラー要因

<state>
エラーが発生した時点での内部状態

1.43.5 USB デバイスクラス判定失敗

【メッセージ】

```
usbd: [usbh_strg] Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
INTR: [usbh_strg] Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
musbd: [USB] Storage Device detection failed. : The interface should be storage class and bulk only type.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ストレージクラス・バルクオンリータイプ以外の USB デバイスを検出したことを示します。
USB ポートには、USB メモリ以外の USB デバイスを接続することはできません。

1.44　外部メディアスタート機能のメッセージ

1.44.1　外部メディアスタート機能の動作の開始

【メッセージ】

```
mountd: start configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が開始されたことを示します。

1.44.2　外部メディアスタート機能の動作開始時のログファイルエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open log file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、ログファイルの作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.44.3　外部メディアスタート機能の動作開始時のパスワード認証エラー

【メッセージ】

```
mountd: authentication error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、パスワード認証エラーにより動作中断されたことを示します。

1.44.4　外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル作成エラー

【メッセージ】

```
mountd: script error in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、デフォルトのコマンドファイル作成失敗により動作中断されたことを示します。

1.44.5　外部メディアスタート機能の動作開始時のコマンドファイル読み込みエラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot open script file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、コマンドファイルのオープン失敗により動作中断されたことを示します。

1.44.6　外部メディアスタート機能の動作開始時の状態ファイルのエラー

【メッセージ】

```
mountd: invalid status file in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、状態ファイルのエラーにより動作中断されたことを示します。

1.44.7　外部メディアスタート機能の動作開始時の時刻取得エラー

【メッセージ】

```
mountd: cannot get time in configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能の動作開始時に、時刻取得エラーにより動作中断されたことを示します。

1.44.8　外部メディアスタート機能の動作の完了

【メッセージ】

```
mountd: complete configuration by external storage device
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行が正常完了したことを示します。

1.44.9　外部メディアスタート機能の動作のエラー終了

【メッセージ】

```
mountd: error configuration by external storage device in line <line>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

外部メディアスタート機能によるコマンド実行がエラーにより中断されたことを示します。

【パラメタの意味】

<line>

エラー行の行番号

1.45　コンフィグトライアル機能のメッセージ

1.45.1　コンフィグトライアル機能の動作の開始

【メッセージ】

```
conftryd: start trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的反映時に時間指定されることで、コンフィグトライアル機能の動作が開始されたことを示します。

1.45.2　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作の実行

【メッセージ】

```
conftryd: restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義が正常に元に戻されたことを示します。

1.45.3　コンフィグトライアル機能による切り戻し動作のエラー終了

【メッセージ】

```
conftryd: cannot restore previous configuration before trying
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能により構成定義を元に戻そうとしたが、エラー終了のため戻せなかったことを示します。

1.45.4　コンフィグトライアル機能の動作のキャンセル

【メッセージ】

```
conftryd: cancel trying configuration
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コンフィグトライアル機能の動作がキャンセルされたことを示します。

1.46 L2 ネットワークサービスのメッセージ

1.46.1 L2 ネットワークサービス起動異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot initialize(<information>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

L2 ネットワークサービスの起動に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<information>
起動失敗時の詳細情報

1.46.2 カーネル情報設定異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot set kernel info(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネル情報の設定が異常のため、設定できずに L2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.46.3 内部通信ソケット異常(汎用ソケット)

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot open socket for generic(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

内部通信で使用するソケット生成が異常のため、L2 ネットワークサービスが停止したことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.46.4　内部通信ソケット受信異常(L2 ソケット異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: L2link socket could not received data(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ポート状態の通知などに使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.46.5　内部通信ソケット受信異常(汎用ソケット異常)

【メッセージ】

```
l2nsm: Generic socket could not received data(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

他モジュールからの通知受信に使用する内部通信ソケットの受信が、異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<error>
異常の要因コード

1.46.6　ポート情報通知矛盾検出

【メッセージ】

```
l2nsm: Interface(<port>) is not found in l2link event(<event>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

通知されたポート情報が、L2 ネットワークサービスのポート情報と矛盾しているため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
通知されたポート番号(1～)
<event>
通知された情報種別

1.46.7　受信データ矛盾検出

【メッセージ】

```
l2nsm: Generic socket received data, but invalid data(<reason>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

受信したデータと L2 ネットワークサービスの情報が矛盾しているため破棄したことを示します。

【パラメタの意味】

<reason>
破棄した理由

1.46.8　L2 プロトコル同期異常

【メッセージ】

```
l2nsm: L2 protocol sync mode is timed out in startup
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時での L2 ネットワークサービスと各 L2 プロトコルとの同期処理がタイムアウトしたことを示します。

【メッセージ】

```
l2nsm: L2 protocol sync mode is canceled in enable
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動時での L2 ネットワークサービスと各 L2 プロトコルとの同期処理が解除されたことを示します。

1.46.9　ダウン通知同期異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Down event is timed out in detach synchronous mode(<port_info>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

定義変更時でのポートダウン通知の同期処理がタイムアウトしたことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
同期処理がタイムアウトになったポート情報

1.46.10　ポート活性化通知異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot attach port(<port_info>)[<error>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネルに対するポート活性化通知が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
活性化通知を行ったポート情報
<error>
通知異常の要因コード

1.46.11　ポート非活性化通知異常

【メッセージ】

```
l2nsm: Cannot detach port(<port_info>)[<error>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

カーネルに対するポート非活性化通知が異常となったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_info>
非活性化通知を行ったポート情報
<error>
通知異常の要因コード

1.46.12　追加処理異常

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Interface(<port_no>) not bound(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ポート情報の定義反映が行えず、該当ポートでの L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<port_no>
無効となったポート番号(1～)

<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] add error(<mode>:<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報の定義反映が行えず、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<mode>
動作モード
common
起動時、動的定義変更時動作
enable
動的定義変更時動作
<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot bind vlan[<vid>] to port[<port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot add vlan[<vid>] to port[<port_no>](<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義反映が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが無効になったことを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)
<error>
設定異常の要因コード

1.46.13 削除処理異常

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Vlan[<vid>] delete error(<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報の定義削除が行えず、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続されることを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<error>
設定異常の要因コード

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot unbind vlan[<vid>] to port[<port_no>]
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続することを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID
<port_no>
ポート番号(1～)

【メッセージ】

```
l2nsm: [CONFIG] Cannot delete vlan[<vid>] to port[<port_no>](<error>)
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

VLAN 情報のポートへの定義削除が行えず、該当ポート、該当 VLAN での L2 ネットワークサービスが継続することを示します。

【パラメタの意味】

<vid>
VLAN ID

<port_no>
ポート番号(1～)

<error>
設定異常の要因コード

1.47　無線 LAN 管理機能－管理監視機能のメッセージ

1.47.1　管理監視機能の起動

【メッセージ】

```
nodemanagerd: nodemanagerd started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

管理監視機能が起動したことを示します。

1.47.2　管理外無線 LAN アクセスポイントの自動削除

【メッセージ】

```
nodemanagerd: Duplicated MAC <mac> detected. Delete an unmanaged AP <ap_num>:<ap_name>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報取得により検出された管理無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレスが、管理外無線 LAN アクセスポイントに登録されていた MAC アドレスと一致したため、管理外無線 LAN アクセスポイントの登録を削除したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac>
管理外無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ap_num>
管理外無線 LAN アクセスポイントの定義番号

<ap_name>
管理外無線 LAN アクセスポイントの名前

1.47.3　管理機器の消失検知(LAN/WLAN)

【メッセージ】

```
nodemanagerd: managed AP: <where> disappeared: NODE:<nodenum>, Name:<nodename>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

管理機器が消失したことを示します。

【パラメタの意味】

<where>

LAN
管理機器が LAN 上から消失した場合

WLAN <無線 LAN インタフェース定義番号>

管理機器の無線 LAN インタフェースが無線 LAN 上から消失した場合

<nodenum>

管理機器定義番号

<nodename>

管理機器名

1.47.4　不明無線 LAN アクセスポイントの初回検知

【メッセージ】

```
nodemanagerd: unknown AP detected: MAC:<mac> SSID=<ssid>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

新たな不明無線 LAN アクセスポイントを検知したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac>

不明無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ssid>

不明無線 LAN アクセスポイントの SSID

1.47.5　不明無線 LAN アクセスポイントの消失検知

【メッセージ】

```
nodemanagerd: unknown AP disappeared: MAC:<mac> SSID=<ssid>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

不明無線 LAN アクセスポイントの消失を検知したことを示します。

【パラメタの意味】

<mac>

不明無線 LAN アクセスポイントの MAC アドレス

<ssid>

不明無線 LAN アクセスポイントの SSID

1.48　無線 LAN 管理機能－稼動情報機能のメッセージ

1.48.1　稼動情報収集機能の起動、停止

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能が起動したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod stopped.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能が停止したことを示します。

1.48.2　稼動情報収集機能の状態遷移

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got into the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能が、稼動状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got out of the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能が、サスペンド状態から稼動状態に遷移したことを示します。

1.48.3　稼動情報収集機能の処理でエラーを検知

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod couldn't connect to node <number>:<name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能で<number>:<name>の管理機器に接続できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
管理機器の定義番号
<name>
管理機器の名前
<address>
管理機器の IP アドレス

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod couldn't get information from node <number>:<name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能で<number>:<name>の稼動情報を取得できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<number>
管理機器の定義番号
<name>
管理機器の名前
<address>
管理機器の IP アドレス

【メッセージ】

```
nodemgr_infod: nodemanager_infod got invalid information from node <number>:<name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

稼動情報収集機能で取得した<number>:<name>の稼動情報に誤りがあることを示します。
管理機器が無線 LAN アクセスポイント以外の動作タイプに設定されている可能性があります。

【パラメタの意味】

<number>
管理機器の定義番号
<name>
管理機器の名前
<address>
管理機器の IP アドレス

1.49　無線 LAN 管理機能－機器監視機能のメッセージ

1.49.1　機器監視機能の起動、停止

【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

機器監視機能が起動したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land stopped.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

機器監視機能が停止したことを示します。

1.49.2　機器監視機能の状態遷移

【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land got into the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

機器監視機能が、稼動状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_land: nodemanager_land got out of the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

機器監視機能が、サスペンド状態から稼動状態に遷移したことを示します。

1.50　無線 LAN 管理機能－無線監視機能のメッセージ

1.50.1　無線監視機能の起動、停止

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能が起動したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland stopped.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能が停止したことを示します。

1.50.2　無線監視機能の状態遷移

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got into the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能が、稼動状態からサスペンド状態に遷移したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got out of the suspended mode.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能が、サスペンド状態から稼動状態に遷移したことを示します。

1.50.3　無線監視機能の処理でエラーを検知

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland couldn't connect to AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能で<ap_num>:<ap_name>の監視用無線 LAN アクセスポイントに接続できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ap_num>
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号

<ap_name>
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前

<address>
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland couldn't get information from AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能で<ap_num>:<ap_name>のスキャンレポートを取得できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<ap_num>
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号

<ap_name>
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前

<address>
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

【メッセージ】

```
nodemgr_wland: nodemanager_wland got invalid information from AP <ap_num>:<ap_name>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

無線監視機能で取得した<ap_num>:<ap_name>のスキャンレポートに誤りがあることを示します。
管理機器が無線 LAN アクセスポイント以外の動作タイプに設定されている可能性があります。

【パラメタの意味】

<ap_num>
監視用無線 LAN アクセスポイントの定義番号

<ap_name>
監視用無線 LAN アクセスポイントの名前

<address>
監視用無線 LAN アクセスポイントの IP アドレス

1.51　無線 LAN 管理機能－ログ出力機能のメッセージ

1.51.1　ログ出力機能の起動、停止

【メッセージ】

```
nodemgr_logd: nodemanager_logd started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ログ出力機能が起動したことを示します。

【メッセージ】

```
nodemgr_logd: nodemanager_logd stopped.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

ログ出力機能が停止したことを示します。

1.52　無線 LAN 管理機能－災害用 Wi-Fi 機能のメッセージ

1.52.1　災害用 Wi-Fi 機能の開放、停止操作

【メッセージ】

```
httpd: 00000JAPAN started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

災害用 Wi-Fi 機能で、開放操作したことを示します。

【メッセージ】

```
httpd: 00000JAPAN stopped.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

災害用 Wi-Fi 機能で、停止操作したことを示します。

1.52.2　災害用 Wi-Fi 機能の処理でエラーを検知

【メッセージ】

```
httpd: 00000JAPAN couldn't start wlan <wlanlist> due to <reason> failure. NODE:<nodenum>,
Name:<nodename>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

災害用 Wi-Fi 機能で無線 LAN インタフェースを開放できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<wlanlist>
無線 LAN インタフェース番号リスト
<reason>
connect
接続失敗
login
ログイン失敗
command
コマンド失敗
<nodenum>
管理機器の定義番号
<nodename>
管理機器の名前

<address>
管理機器の IP アドレス

【メッセージ】

```
httpd: 00000JAPAN couldn't stop wlan <wlanlist> due to <reason> failure. NODE:<nodenum>,
Name:<nodename>(<address>).
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

災害用 Wi-Fi 機能で無線 LAN インタフェースを停止できなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<wlanlist>
無線 LAN インタフェース番号リスト
<reason>
connect
接続失敗
login
ログイン失敗
command
コマンド失敗
<nodenum>
管理機器の定義番号
<nodename>
管理機器の名前
<address>
管理機器の IP アドレス

1.53　端末可視化機能関連のメッセージ

1.53.1　端末可視化機能の起動、停止

【メッセージ】

```
devscand: devscan vlan <vlan_id> started.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末可視化機能が起動したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

1.53.2　端末可視化機能の起動失敗

【メッセージ】

```
devscand: could not start devscan vlan <vlan_id>. <reason>.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

端末可視化機能の起動に失敗したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID
<reason>
could not open file
ファイルのオープンに失敗
internal-path did not up
内部パスが UP 状態にならなかった

【メッセージ】

```
devscand: devscan vlan <vlan_id> stopped and restarted.
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

起動していた端末可視化機能が停止し、再起動したことを示します。

【パラメタの意味】

<vlan_id>
VLAN ID

1.54 その他のメッセージ

1.54.1 システムリセットエラー

【メッセージ】

```
<name>: ERROR: system reset busy.
```

【プライオリティ】

LOG_ERROR

【意味】

リセット処理を実施しようとしたが、ファーム更新中、構成定義の保存中、他スレッドでリセット処理中などにより、リセット処理ができなかったことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
リセットを実施したプログラム
scheduled
スケジュールによるリセット
telexec
telnet からのコマンドによるリセット
sshexec
ssh からのコマンドによるリセット

1.54.2 動的定義反映実行

【メッセージ】

```
enabled: system configuration restarted
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

動的定義反映が実行されたことを示します。

1.54.3 重複メッセージの省略

【メッセージ】

```
same message repeated <num> times
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

同じメッセージが繰り返されたので表示を省略したことを示します。

【パラメタの意味】

<num>
繰り返された回数

1.54.4　スケジュール機能による実行

【メッセージ】

```
scheduled: schedule command "<command>" executed
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

スケジュール機能によりコマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<command>
実行されたコマンド

1.54.5　コマンド実行履歴

【メッセージ】

```
<name>: command "<command>" executed by <user>
```

【プライオリティ】

LOG_INFO

【意味】

コマンドが実行されたことを示します。

【パラメタの意味】

<name>
コマンドを実行したプログラム
telnetd
telnet でコマンドを実行した
sshlogin
ssh でコマンドを実行した
logon
コンソールでコマンドを実行した
<command>
実行されたコマンド
<user>
コマンドを実行したユーザ名

SR-S　メッセージ集

P3NK-7072-03Z0

発行日　　2022 年 11 月

発行責任　　富士通株式会社

• 本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
• 本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
• 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、 弊社はその責を負いません。